

ANTENNA

2026年入試への万全の対策

第1回全統記述模試

いよいよ受験の天王山とも言える夏がやってきます。全国168,561名の受験生が参加し実施された第1回全統記述模試の結果をここにお届けします。

今回は、高3生の進度を考慮に入れた出題内容とし、基本事項を数多く出題しました。今回出題した内容は、今後の学習の基礎となる事項が含まれていますので、しっかり復習しておいてください。また、各教科・科目ごとのポイントとなった問題の解説は、「学習対策」に掲載していますので、しっかり読んで今後の学習に役立ててください。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/



スマートフォンの方はこちら

もくじ

見直しシート	2
個人成績表の見方	3
成績統計資料	5
総合成績表	5
科目別成績表	6
教科科目別設問別成績表	7
小問（単位問）別平均点	9
学習対策	22
英語	22
数学	22
国語	23
理科	24
地理歴史	27
公民	28
採点に関する問い合わせについて	29
お問い合わせ先一覧	31

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1.成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「5.設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3.志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標偏差値を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標偏差値
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題
など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから

www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学力レベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

- 総合1**は、国理、国文、私理、私文の各型の母集団内での位置づけを示します。偏差値は全受験科目の偏差値の平均値です。上記の区別は、受験届の志望別欄のマークによります。未マークの場合は、最も高い志望順位にマークした国公立大学（マークしていない場合は私立大学）の文理区分によります。
 - 総合2**は、文系または理系別の位置づけを示します。偏差値は、文系は英・国・<数or地or公>から2～3教科、理系は英・数・理から2～3教科の偏差値の平均値です。理科、地歴、公民を複数科目受験している場合は、偏差値の高い科目を採用します。
 - 校内成績欄の母集団は、現役生は在籍高校、高卒生のうち予備校生はその予備校（一括申込の場合）です。また、偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。
- ※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 全統共通テスト模試成績

- 共通テスト換算得点は、今年度の全統共通テスト模試の科目の得点を、直近の大学入学共通テストの得点に換算したものです。今年度の全統共通テスト模試の中での位置づけが、直近の大学入学共通テストの得点分布ではどのような位置に相当するかを示すもので、来年度の大学入学共通テストの得点を予想するものではありません。
- 理科、地歴、公民において第2解答科目の共通テスト換算得点が第1解答科目より高い場合は“*”を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

■河合塾の合格可能性評価は、模試ごとの志望者分布だけでなく、今年度の全体志望動向等を含めて予想しています。

詳しくはこちらからご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



・合格可能性評価は、それぞれ次の意味を表します。

- A : 合格可能性評価80%以上…今のところ合格圏にあります。このペースで頑張りましょう。
- B : 合格可能性評価65%…油断大敵。合格圏へもうひとふんばりです。
- C : 合格可能性評価50%…ボーダーライン。合格圏めざして頑張りましょう。
- D : 合格可能性評価35%…これからの努力で、まだまだ伸びます。大いに頑張りましょう。
- E : 合格可能性評価20%以下……再検討を要します。学習法を一考しましょう。
- G : 教科・科目数の不足…志望大学入試に必要な教科・科目のなかに未受験のものがあります。
- H : 範囲不足…英語（リスニング）、数学（Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型）、国語（現・古・漢）のいずれかの範囲が不足しています。理科（全範囲）を課す大学を志望していますが、理科基礎を受験しています。なお、選択科目がある場合、通常は偏差値が高い方の科目を用いますが、一方の科目が範囲不足となっている場合は、成績に関わりなく範囲不足になっていないもう一方の科目を用いて合格可能性評価を行います。
- # : 大学入学共通テストと二次試験で同一科目受験が制限されている大学の志望者が、共通テスト模試と記述模試でその同一科目を受験した場合は合格可能性評価に「#」を付し、注意を促しています。
- * : 英・数・国・理・地公の教科試験が課されない等の理由により、合格可能性評価を行いません。

- ・志望大学に必要な教科・科目を一部受験していない場合は、受験している科目で評価偏差値を計算して評価を行い、評価欄にG付評価（例：BG、CGなど）を表示します。1科目も受験していない場合は、評価欄に「G」を付し、A～Eの評価は表示されません。
- ・ボーダーランク欄の「BF（ボーダーフリー）」という表示は、ボーダーラインが設定できなかった大学の募集区分（不合格者が少ないため、合格率50%となるボーダーラインがどの偏差値帯においても存在しないもの）を表しています。
- 定員**は、4年制大学および短期大学は募集人員、専門学校などは入学定員を表示しています。非公表の場合は河合塾推定で“*”を付しています。大学が若干名と公表している場合、もしくは、設定できない場合、募集人数を“0”と表示しています。
- 志望大学の中で、第1志望者内での集計と、総志望者での集計を行い、**順位と平均偏差値**を表示します。
 - ・「第1志望者」は、国公立大については当該大学を前期、中期、後期の各日程内で最も高い志望順位に記入した方、私立大その他についてはその中で当該大学を最も高い志望順位に記入した方、をそれぞれ集計対象としています。
 - ・第2志望以下の大学における第1志望者欄の順位は、第1志望者の母集団に当てはめた場合の順位です。

- ・平均偏差値は二次・一般の評価偏差値の平均です。二次試験で学科試験を課さない国公立大、大学独自の個別学科試験を課さない共通テスト利用私大・短大は、偏差値表示はされません。
- 教科別成績**には、各志望校の教科別の平均偏差値、本人成績、大学配点（各志望校の教科別配点）が表示されます。
- ・**平均偏差値**は、国公立大については第1志望者を、私立大その他については総志望者を集計対象としています。入試に課されない教科についても参考として表示しています。二次試験で学科試験を課さない国公立大は第1志望者、大学独自試験を課さない共通テスト利用私大・短大は総志望者の平均偏差値が参考として表示されます。第1志望者が0人の場合は表示されません。
- ・**本人成績**は、<1. 成績概況>の科目の偏差値の中で合格可能性評価に使用した科目の偏差値を表示しています（母集団はその科目を受験した方です）。理科、地歴、公民で2科目以上受験している場合は、入試で課される科目が1科目であれば使用した科目、2科目であれば科目の配点比率に応じて計算された偏差値が表示されます。

【例】E大学を志望したF君の場合

E大学の理科の配点 化学 80点 生物 40点
F君の記述模試の偏差値 化学 52.0 生物 59.8
とすると、F君のE大学の教科別成績の理科の欄は、

$$\frac{\{(52.0 \times 80) + (59.8 \times 40)\}}{80 + 40} = 54.6$$

下記の記号は、それぞれ次の意味を表します。

G : 必須教科・科目数の不足、H : 範囲不足

- ・**大学配点**は、入試に課される教科の教科別の配点のうち、あなたの合格可能性評価に採用された教科について表示されています。ただし、あなたが受験していない教科については表示されません。

4. 成績推移

- 昨年度の全統記述高2模試、今年度の第1～3回全統記述模試の成績推移を表示します。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。

5. 設問別成績

- 第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

6. 学力要素別成績

- 今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆ 総合成績表

受験者総数 **168,561** 名

(現役：146,914名/高卒：21,647名)

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	77.3	74.3	97.6	39.1	50.0	49.2	55.2	200	0	167790	146265	21525
I型	100	36.4	36.2	45.1	21.0	50.0	49.9	54.2	100	0	5600	5462	138
II型	200	81.4	78.3	110.6	41.3	50.0	49.3	57.1	200	0	48835	44220	4615
III型	200	82.2	76.7	107.1	44.1	50.0	48.8	55.6	200	0	70260	57650	12610
現代文	150	55.9	55.3	63.7	17.2	50.0	49.7	54.5	133	0	7397	6890	507
現・古	200	73.5	72.7	80.4	21.2	50.0	49.6	53.3	165	0	19517	17495	2022
現古漢	200	78.6	77.2	93.4	28.0	50.0	49.5	55.3	195	0	92726	84747	7979
物理基礎	50	17.8	17.8	17.1	8.4	49.9	50.0	49.2	46	0	965	943	22
物理	100	30.4	27.7	44.7	18.8	50.0	48.5	57.6	100	0	58797	49254	9543
化学基礎	50	18.7	18.5	26.1	8.0	50.0	49.8	59.2	49	0	3391	3309	82
化学	100	39.8	36.7	54.7	18.7	50.0	48.3	58.0	100	0	72711	60375	12336
生物基礎	50	23.1	23.0	27.8	8.5	50.0	49.9	55.5	50	0	5220	5113	107
生物	100	44.9	42.3	56.7	17.0	50.0	48.5	56.9	100	0	19058	15700	3358
地学基礎	50	17.8	17.8	16.9	6.9	50.0	50.0	48.6	41	0	524	517	7
地学	100	33.7	32.2	37.4	20.8	50.0	49.3	51.8	99	0	167	119	48
世界史	100	33.9	32.4	49.4	20.3	50.0	49.3	57.6	99	0	28776	26189	2587
日本史	100	42.4	40.8	59.7	19.6	50.0	49.2	58.8	100	0	39976	36640	3336
地理	100	35.3	34.1	47.9	13.7	50.0	49.1	59.2	88	0	9110	8324	786
倫理	100	30.6	29.9	59.5	14.4	50.0	49.5	70.0	100	0	2634	2574	60
政治経済	100	34.0	33.3	50.4	14.1	50.0	49.5	61.7	95	0	16252	15618	634

全国の受験者の中での位置を教科・科目別/志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「志望別順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。

スマートフォンの方は
こちら



www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

◆科目別成績表

受験者が1名の場合は成績は表示しておりません。

国公立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	88.6	85.3	104.9	-----	52.9	52.0	57.1	200	0	63120	52516	10604
I型	100	48.3	48.1	52.7	-----	55.7	55.6	57.7	100	5	467	446	21
II型	200	76.4	75.0	94.9	-----	48.8	48.4	53.3	200	0	5923	5491	432
III型	200	87.7	82.5	111.5	-----	51.3	50.1	56.7	200	0	56768	46588	10180
現代文	150	63.9	62.9	70.1	-----	54.7	54.1	58.2	114	0	1618	1392	226
現・古	200	87.0	85.1	94.8	-----	56.4	55.5	60.0	154	26	1334	1065	269
現古漢	200	82.3	81.1	99.7	-----	51.3	50.9	57.5	181	0	28564	26713	1851
物理基礎	50	18.9	19.0	13.9	-----	51.3	51.4	45.3	40	1	276	269	7
物理	100	32.6	29.8	45.9	-----	51.1	49.7	58.3	100	0	47925	39770	8155
化学基礎	50	19.5	19.3	24.9	-----	51.0	50.7	57.7	46	2	614	595	19
化学	100	41.8	38.8	56.1	-----	51.1	49.5	58.7	100	0	59567	49408	10159
生物基礎	50	22.8	22.6	28.3	-----	49.6	49.4	56.1	47	3	545	527	18
生物	100	48.0	45.8	58.4	-----	51.8	50.5	57.9	100	0	13464	11126	2338
地学基礎	50	13.4	13.6	11.5	-----	43.5	43.8	40.9	21	6	20	18	2
地学	100	36.8	36.2	38.2	-----	51.5	51.2	52.1	99	4	146	100	46
世界史	100	26.8	26.5	41.0	-----	46.5	46.3	53.5	70	6	131	128	3
日本史	100	38.6	38.4	45.2	-----	48.0	48.0	51.4	85	4	293	288	5
地理	100	34.1	33.9	41.5	-----	49.1	49.0	54.5	79	0	3323	3255	68
倫理	100	27.2	26.5	54.0	-----	47.6	47.1	66.3	82	6	80	78	2
政治経済	100	32.9	32.4	44.5	-----	49.2	48.8	57.4	80	6	471	450	21

国公立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	86.5	84.1	107.1	-----	52.4	51.7	57.6	196	0	36983	33080	3903
I型	100	44.1	44.1	45.5	-----	53.7	53.7	54.3	100	0	1060	1029	31
II型	200	91.2	87.9	117.9	-----	52.4	51.6	58.8	200	0	29864	26569	3295
III型	200	55.2	53.8	82.1	-----	43.9	43.6	50.0	185	0	406	385	21
現代文	150	58.9	58.6	62.5	-----	51.7	51.5	53.8	109	0	660	609	51
現・古	200	86.1	84.7	92.5	-----	55.9	55.3	59.0	153	4	2299	1884	415
現古漢	200	86.0	84.2	101.7	-----	52.6	52.0	58.3	189	0	33676	30293	3383
物理基礎	50	21.1	21.0	27.3	-----	54.0	53.8	61.3	42	0	139	135	4
物理	100	19.0	18.2	38.6	-----	43.9	43.5	54.3	88	0	355	341	14
化学基礎	50	21.8	21.5	31.5	-----	53.9	53.6	66.0	49	0	1185	1155	30
化学	100	27.3	26.7	45.7	-----	43.3	43.0	53.2	86	0	460	446	14
生物基礎	50	26.0	25.9	32.0	-----	53.4	53.3	60.4	50	0	2810	2760	50
生物	100	35.9	35.8	40.0	-----	44.7	44.6	47.1	80	9	165	159	6
地学基礎	50	19.2	19.2	24.3	-----	52.1	52.0	59.4	41	0	392	389	3
地学	100	16.8	16.8	-----	-----	41.8	41.8	-----	40	0	8	8	-----
世界史	100	37.8	36.0	55.1	-----	51.9	51.0	60.4	99	0	13563	12277	1286
日本史	100	45.4	43.9	62.9	-----	51.6	50.8	60.4	100	0	16279	14987	1292
地理	100	38.9	37.0	50.0	-----	52.6	51.3	60.8	88	2	4460	3838	622
倫理	100	32.7	31.9	61.6	-----	51.5	50.9	71.5	100	2	2035	1981	54
政治経済	100	36.2	35.8	49.7	-----	51.6	51.3	61.2	95	0	9162	8894	268

私立大理系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	59.2	55.6	82.2	-----	45.4	44.4	51.3	196	0	20216	17482	2734
I型	100	36.7	36.6	43.1	-----	50.2	50.1	53.2	100	0	1410	1377	33
II型	200	59.0	58.3	73.3	-----	44.6	44.4	48.0	189	0	5710	5417	293
III型	200	59.4	52.7	88.8	-----	44.8	43.3	51.5	200	0	12708	10329	2379
現代文	150	55.4	55.1	63.0	-----	49.7	49.6	54.1	133	0	1861	1794	67
現・古	200	65.2	64.9	76.5	-----	46.1	45.9	51.4	121	6	537	523	14
現古漢	200	55.8	55.7	60.8	-----	41.8	41.8	43.6	136	0	2181	2159	22
物理基礎	50	16.3	16.3	14.3	-----	48.2	48.2	45.8	45	0	488	478	10
物理	100	21.5	19.0	38.0	-----	45.3	43.9	54.1	100	0	10141	8778	1363
化学基礎	50	17.0	16.8	23.1	-----	47.9	47.6	55.5	46	0	995	968	27
化学	100	31.2	27.5	48.4	-----	45.4	43.4	54.6	98	0	12157	10013	2144
生物基礎	50	19.8	19.7	22.7	-----	46.1	46.0	49.5	46	4	980	947	33
生物	100	37.9	34.2	53.0	-----	45.9	43.7	54.7	97	0	5121	4119	1002
地学基礎	50	13.1	13.4	-----	-----	43.2	43.6	-----	25	7	20	19	1
地学	100	9.9	7.0	20.0	-----	38.6	37.2	43.5	33	2	9	7	2
世界史	100	23.6	23.2	-----	-----	44.9	44.7	-----	74	4	34	33	1
日本史	100	23.5	23.6	20.7	-----	40.4	40.4	38.9	62	4	106	103	3
地理	100	24.8	24.8	-----	-----	42.4	42.4	-----	55	4	104	104	-----
倫理	100	16.9	16.9	-----	-----	40.5	40.5	-----	34	6	18	18	-----
政治経済	100	26.3	25.5	-----	-----	44.5	44.0	-----	95	10	96	95	1

私立大文系

	配点	平均点			標準偏差	平均偏差値			最高点	最低点	人数		
		全体	現役	高卒		全体	現役	高卒			全体	現役	高卒
英語	200	62.9	61.1	81.1	-----	46.3	45.8	51.0	196	0	47198	42957	4241
I型	100	31.1	30.9	43.6	-----	47.5	47.4	53.5	100	0	2645	2594	51
II型	200	62.9	59.6	100.9	-----	45.5	44.7	54.7	190	0	7282	6698	584
III型	200	41.4	39.9	70.3	-----	40.7	40.4	47.3	162	0	296	282	14
現代文	150	51.7	51.5	55.4	-----	47.5	47.4	49.7	118	0	3241	3080	161
現・古	200	70.7	70.5	73.7	-----	48.7	48.6	50.1	165	0	15332	14010	1322
現古漢	200	68.0	66.8	79.2	-----	46.2	45.8	50.2	195	0	28265	25548	2717
物理基礎	50	16.6	16.5	-----	-----	48.6	48.4	-----	46	0	61	60	1
物理	100	12.1	12.0	20.6	-----	40.3	40.2	44.8	85	0	350	343	7
化学基礎	50	14.7	14.7	16.2	-----	45.0	45.0	46.8	39	0	594	588	6
化学	100	19.6	19.3	32.2	-----	39.2	39.0	45.9	77	0	482	469	13
生物基礎	50	17.7	17.7	19.7	-----	43.7	43.7	46.0	41	0	882	876	6
生物	100	28.3	28.0	40.6	-----	40.2	40.1	47.4	76	2	289	282	7
地学基礎	50	13.6	13.6	-----	-----	43.9	43.9	-----	28	0	92	91	1
地学	100	7.3	7.3	-----	-----	37.3	37.3	-----	11	2	4	4	-----
世界史	100	30.5	29.3	43.7	-----	48.3	47.7	54.8	99	0	15033	13736	1297
日本史	100	40.4	38.8	57.8	-----	49.0	48.1	57.9	100	0	23282	21247	2035
地理	100	26.7	25.7	38.5	-----	43.7	43.0	52.4	79	0	1218	1123	95
倫理	100	23.0	22.9	33.3	-----	44.7	44.7	51.9	82	0	500	496	4
政治経済	100	31.1	30.0	51.2	-----	47.9	47.2	62.2	93	0	6517	6174	343

◆教科科目別設問別成績表

英 語

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	77.3	74.3	97.6		39.1	200	0	167790	146265	21525
1	リスニング	15	8.5	8.4	9.8		3.9	15	0	103593	99876	3717
2	中文空所補充問題	15	6.8	6.3	8.2		4.0	15	0	64196	46388	17808
3	文法・語法	20	8.9	8.6	10.6		4.0	20	0	167790	146265	21525
4	総合問題（客観中心）	60	25.7	24.7	32.3		13.3	60	0	167790	146265	21525
5	総合問題（記述中心）	60	18.5	17.3	26.3		14.7	60	0	167790	146265	21525
6	英作文（整序・本格・自由）	45	16.4	15.9	19.9		10.1	45	0	167790	146265	21525

数学 I 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		100	36.4	36.2	45.1	32.1	37.3	21.0	100	0	5600	5462	138
1	2次関数、データの分析、三角比	60	23.8	23.7	29.0	22.2	24.2	12.8	60	0	5600	5462	138
2	2次関数の最大値・最小値	40	9.9	9.7	14.2	9.9		8.9	40	0	1002	968	34
3	条件を満たす数字の並べ方	40	13.7	13.6	17.2		13.7	11.8	40	0	3228	3158	70
4	方べきの定理、メネラウスの定理	40	12.3	12.2	15.9		12.3	11.6	40	0	1326	1292	34

数学 II 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		200	81.4	78.3	110.6	67.0	84.8	41.3	200	0	48835	44220	4615
1	円の方程式、対数関数、微分など	50	28.0	27.2	35.5	21.9	29.5	13.2	50	0	48835	44220	4615
2	条件を満たす数字の並べ方	50	25.3	24.7	31.5	19.8	26.6	14.9	50	0	48835	44220	4615
3	三角関数を含む方程式の解の個数	50	11.2	10.3	20.0	6.4	12.4	11.0	50	0	48835	44220	4615
4	2次関数の最大値・最小値	50	19.6	19.1	27.3	19.6		12.6	50	0	8421	7973	448
5	等差数列、和と一般項、数列の和	50	17.7	17.1	23.3	13.2	17.9	11.7	50	0	24592	22126	2466
6	位置ベクトル、三角形の面積比	50	14.3	13.2	23.5		14.3	13.2	50	0	15437	13772	1665

数学 III 型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数			
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒	
		200	82.2	76.7	107.1	82.2		44.1	200	0	70260	57650	12610
1	円、対数関数、積分、数列の和など	40	22.6	21.5	27.2	22.6		11.5	40	0	70260	57650	12610
2	カードの数字により定めた数の確率	40	17.2	16.2	21.8	17.2		12.6	40	0	70260	57650	12610
3	位置ベクトル、三角形の面積比	40	13.2	11.7	20.3	13.2		11.4	40	0	70260	57650	12610
4	三角関数を含む方程式の解の個数	40	14.7	13.9	18.7	14.7		8.7	40	0	70260	57650	12610
5	漸化式、無限級数の収束・発散	40	14.8	13.5	19.8	14.8		11.4	40	0	50507	40128	10379
6	極形式、ド・モアブルの定理	40	14.1	13.8	16.7	14.1		8.1	40	0	18859	16791	2068

現代文型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		150	55.9	55.3	63.7		17.2	133	0	7397	6890	507
1	現代文（評論）	50	17.5	17.3	20.0		7.6	50	0	7397	6890	507
2	現代文（評論）	50	18.9	18.6	22.6		8.0	46	0	7397	6890	507
5	現代文（評論）	50	19.5	19.4	21.1		7.6	41	0	7397	6890	507

現・古型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	73.5	72.7	80.4		21.2	165	0	19517	17495	2022
1	現代文（評論）	50	18.8	18.7	20.0		7.2	45	0	19517	17495	2022
2	現代文（評論）	50	21.0	20.8	23.0		7.8	46	0	19517	17495	2022
3	古文（物語）	50	12.3	12.0	15.1		8.9	50	0	19517	17495	2022
5	現代文（評論）	50	21.4	21.3	22.3		6.9	44	0	19517	17495	2022

現・古・漢型

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
		200	78.6	77.2	93.4		28.0	195	0	92726	84747	7979
1	現代文（評論）	50	20.6	20.5	22.0		7.2	50	0	92726	84747	7979
2	現代文（評論）	50	23.9	23.6	26.5		8.0	50	0	92726	84747	7979
3	古文（物語）	50	17.7	17.2	22.7		10.9	50	0	92726	84747	7979
4	漢文（随筆）	50	16.4	15.9	22.2		10.8	50	0	92726	84747	7979

国語

設問 ト-列	設 問 内 容	配点	平 均 点				標 準 偏差	最高点	最低点	人 数		
			全 体	現 役	高 卒					全 体	現 役	高 卒
1	現代文（評論）	50	20.1	20.0	21.6		7.3	50	0	119640	109132	10508
2	現代文（評論）	50	23.1	22.9	25.7		8.1	50	0	119640	109132	10508
3	古文（物語）	50	16.7	16.3	21.1		10.7	50	0	112243	102242	10001
4	漢文（随筆）	50	16.4	15.9	22.2		10.8	50	0	92726	84747	7979
5	現代文（評論）	50	20.9	20.7	22.0		7.1	44	0	26914	24385	2529

物理基礎

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		50	17.8	17.8	17.1		8.4	46	0	965	943	22
1	力のつり合い・運動方程式	30	12.4	12.4	13.2		6.6	30	0	965	943	22
2	熱と温度	20	5.3	5.4	3.9		3.2	20	0	965	943	22

物理

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	30.4	27.7	44.7		18.8	100	0	58797	49254	9543
1	剛体のつり合い	33	13.0	12.0	17.9		7.9	33	0	58797	49254	9543
2	ドップラー効果	33	7.6	6.7	12.5		7.9	33	0	58797	49254	9543
3	保存則	34	9.9	9.0	14.3		6.5	34	0	58797	49254	9543

化学基礎

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		50	18.7	18.5	26.1		8.0	49	0	3391	3309	82
1	物質の構成、化学量	25	10.7	10.6	14.2		4.5	24	0	3391	3309	82
2	酸・塩基	25	8.0	7.9	11.9		4.5	25	0	3391	3309	82

化学

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	39.8	36.7	54.7		18.7	100	0	72711	60375	12336
1	原子の構造、周期律、結合、結晶	30	14.7	13.4	20.6		7.5	30	0	72711	60375	12336
2	酸と塩基	25	10.4	9.6	14.2		5.8	25	0	72711	60375	12336
3	酸化・還元	25	11.8	11.1	14.8		5.3	25	0	72711	60375	12336
4	固体の溶解度、浸透圧	20	2.9	2.5	5.1		3.6	20	0	72711	60375	12336

生物基礎

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		50	23.1	23.0	27.8		8.5	50	0	5220	5113	107
1	代謝とATP・酵素	17	9.3	9.2	11.0		4.0	17	0	5220	5113	107
2	血糖濃度の調節・糖尿病	17	6.1	6.0	8.1		4.0	17	0	5220	5113	107
3	生態系サービス・富栄養化	16	7.8	7.7	8.7		2.8	16	0	5220	5113	107

生物

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	44.9	42.3	56.7		17.0	100	0	19058	15700	3358
1	自然選択・性選択による進化	25	11.4	10.8	14.1		4.7	25	0	19058	15700	3358
2	DNAの半保存的複製とその仕組み	25	12.2	11.4	15.8		5.2	25	0	19058	15700	3358
3	免疫、拒絶反応でのリンパ球の役割	25	10.3	9.5	14.0		5.7	25	0	19058	15700	3358
4	垂直分布、暖温帯での植生の遷移	25	11.0	10.6	12.8		5.5	25	0	19058	15700	3358

地学基礎

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		50	17.8	17.8	16.9		6.9	41	0	524	517	7
1	地震の特徴・震央と震源	16	9.1	9.1	8.4		2.4	16	0	524	517	7
2	地質断面図・流水のはたらき	17	5.1	5.1	4.7		3.5	17	0	524	517	7
3	太陽放射・エネルギー収支	9	1.8	1.8	1.7		2.0	9	0	524	517	7
4	太陽系の天体・惑星の分類	8	1.7	1.7	2.0		1.5	8	0	524	517	7

地学

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	33.7	32.2	37.4		20.8	99	0	167	119	48
1	地球の内部構造と表層の地学現象	20	7.7	7.3	8.9		4.6	20	0	167	119	48
2	マグマの発生・分化和火成岩の特徴	20	4.6	4.2	5.5		4.5	20	0	167	119	48
3	地質柱状図と地史および地球の歴史	20	7.7	7.6	8.1		4.2	20	0	167	119	48
4	雲と降水および大気と海流の関係	20	7.5	7.2	8.1		5.6	20	0	167	119	48
5	太陽系の惑星の運動と太陽の特徴	20	6.2	5.9	6.9		5.3	20	0	167	119	48

世界史

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	33.9	32.4	49.4		20.3	99	0	28776	26189	2587
1	古代から中世における地中海交易	26	9.4	9.0	13.4		5.4	26	0	28776	26189	2587
2	古代から中世にかけての西欧史	24	8.9	8.6	12.8		5.8	24	0	28776	26189	2587
3	歴代中国王朝と儒教・儒学	26	8.1	7.8	11.3		5.6	26	0	28776	26189	2587
4	南インドの諸王朝の歴史	24	7.5	7.0	11.9		6.0	24	0	28776	26189	2587

日本史

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	42.4	40.8	59.7		19.6	100	0	39976	36640	3336
1	食料獲得技術の進展	30	17.5	16.9	23.4		7.4	30	0	39976	36640	3336
2	木簡からみる古代の国家や社会	20	7.9	7.6	11.6		4.2	20	0	39976	36640	3336
3	漢文学と仮名文学	20	6.8	6.5	10.2		4.9	20	0	39976	36640	3336
4	中世の朝幕関係	30	10.3	9.9	14.5		6.6	30	0	39976	36640	3336

地理

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	35.3	34.1	47.9		13.7	88	0	9110	8324	786
1	気候要素と気候因子、植生・土壌	25	9.2	8.8	13.1		5.1	25	0	9110	8324	786
2	工業化、各種工業の立地、ICT	25	7.7	7.5	10.2		3.6	25	0	9110	8324	786
3	食料事情、食の安全、農地森林保全	25	8.7	8.5	11.0		3.6	24	0	9110	8324	786
4	ヨーロッパの自然、産業、文化	25	9.7	9.3	13.5		4.2	25	0	9110	8324	786

倫理

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	30.6	29.9	59.5		14.4	100	0	2634	2574	60
1	現代の倫理的課題	24	9.3	9.1	14.6		4.1	24	0	2634	2574	60
2	東洋源流思想の発展と特質	26	6.2	6.0	14.1		4.4	26	0	2634	2574	60
3	日本における仏教の受容と展開	26	8.7	8.5	16.2		5.3	26	0	2634	2574	60
4	近代的人間観の形成	24	6.5	6.3	14.6		4.6	24	0	2634	2574	60

政治・経済

設問	設問内容	配点	平均点				標準偏差	最高点	最低点	人数		
			全体	現役	高卒					全体	現役	高卒
トータル		100	34.0	33.3	50.4		14.1	95	0	16252	15618	634
1	民主政治の基本原則	20	9.8	9.6	13.5		4.3	20	0	16252	15618	634
2	日本国憲法の統治機構	20	7.2	7.1	9.2		3.3	20	0	16252	15618	634
3	資本主義経済の歩みと市場機構	20	8.3	8.1	11.7		3.9	20	0	16252	15618	634
4	財政・金融政策、物価、景気変動	20	4.7	4.6	7.7		3.1	20	0	16252	15618	634
5	各国の政治体制	20	4.1	3.9	8.3		3.8	20	0	16252	15618	634

小問(単位問)別平均点 〈英語〉

英 語 受験者数： 167790 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	リスニング	15	8.5	1.1	3	2.0		○	
				1.2	3	2.4		○	
				1.3	3	0.9		○	
				1.4	3	1.0		○	
				1.5	3	2.3		○	
2	中文空所補充問題	15	6.8	2(1)	3	0.6		○	
				2(2)	3	1.2		○	
				2(3)	3	2.0		○	
				2(4)	3	1.5		○	
				2(5)	3	1.6		○	
3	文法・語法	20	8.9	3.A.1	2	0.3	○		
				3.A.2	2	0.9	○		
				3.A.3	2	0.9	○		
				3.A.4	2	1.2	○		
				3.A.5	2	0.5	○		
				3.A.6	2	1.4	○		
				3.A.7	2	1.1	○		
				3.A.8	2	1.1	○		
				3.B.1	2	0.8	○		
				3.B.2	2	0.7	○		
4	総合問題（客観中心）	60	25.7	4.問1	5	4.0		○	
				4.問2	5	3.2		○	
				4.問3	8	5.6		○	
				4.問4	8	2.0		○	
				4.問5	10	1.9		○	
				4.問6	10	1.4		○	
				4.問7	6	2.0		○	
				4.問8	8	5.5		○	
5	総合問題（記述中心）	60	18.5	5.問1	12	3.1		○	
				5.問2	12	4.6		○	
				5.問3	5	2.6		○	
				5.問4	5	1.9		○	
				5.問5	10	1.8		○	
				5.問6	12	2.2		○	
				5.問7	4	2.3		○	
6	英作文（整序・本格・自由）	45	16.4	6.A.1	4	2.4	○		
				6.A.2	4	1.0	○		
				6.A.3	4	0.8	○		
				6.B(1)	7	2.0		○	○
				6.B(2)	10	1.9		○	○
				6.C	16	8.3			○

小問(単位問)別平均点 〈数学I型〉

I 型 受験者数： 5600 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	2次関数、データの分析、三角比	60	23.8	1(1)(i)	6	4.6	○		
				1(1)(ii)	6	3.2	○		
				1(2)(i)	5	3.2	○		
				1(2)(ii)	6	1.0	○		
				1(2)(iii)	5	0.4	○		
				1(3)(i)	5	4.7	○		
				1(3)(ii)	7	2.5	○		
				1(3)(iii)	2	0.6	○		
				1(4)(i)	8	3.0	○		
				1(4)(ii)	5	0.5	○		
				1(4)(iii)	5	0.1	○		
				2	2次関数の最大値・最小値	40	9.9	2(1)	10
2(2)	6	2.3						○	
2(3)	14	1.3						○	
2(4)	10	0.6						○	
3	条件を満たす数字の並べ方	40	13.7	3(1)	10	6.1		○	
				3(2)	10	4.8		○	
				3(3)	10	1.9		○	
				3(4)	10	0.9		○	○
4	方べきの定理、メネラウスの定理	40	12.3	4(1)	14	8.0	○		
				4(2)(i)	10	2.7		○	
				4(2)(ii)	16	1.5		○	

小問(単位問)別平均点〈数学Ⅱ型〉

Ⅱ型 受験者数： 48835 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	円の方程式、対数関数、微分など	50	28.0	1(1)	10	6.3	○		
				1(2)(i)	4	3.9	○		
				1(2)(ii)	4	2.5	○		
				1(2)(iii)	2	1.2	○		
				1(3)	10	4.4	○		
				1(4)	10	2.4	○		
2	条件を満たす数字の並べ方	50	25.3	1(5)	10	7.2	○		
				2(1)	12	9.6		○	
				2(2)	12	8.2		○	
				2(3)	12	5.0		○	
3	三角関数を含む方程式の解の個数	50	11.2	2(4)	14	2.5		○	○
				3(1)	12	4.2	○		
				3(2)	12	6.4		○	
4	2次関数の最大値・最小値	50	19.6	3(3)	26	0.6		○	○
				4(1)	12	9.4	○		
				4(2)	8	4.9		○	
				4(3)	16	4.0		○	
5	等差数列、和と一般項、数列の和	50	17.7	4(4)	14	1.3		○	
				5(1)	15	11.6	○		
				5(2)	20	5.6		○	
6	位置ベクトル、三角形の面積比	50	14.3	5(3)	15	0.5		○	
				6(1)	10	6.1	○		
				6(2)	18	6.3		○	
				6(3)(i)	14	1.7		○	
				6(3)(ii)	8	0.1		○	○

小問(単位問)別平均点〈数学Ⅲ型〉

Ⅲ型 受験者数： 70260 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	円、対数関数、積分、数列の和など	40	22.6	1(1)	8	5.9	○		
				1(2)	8	4.2	○		
				1(3)	8	3.5	○		
				1(4)	8	3.8	○		
				1(5)	8	5.1	○		
2	カードの数字により定めた数の確率	40	17.2	2(1)	10	7.5		○	
				2(2)	16	7.0		○	○
				2(3)	14	2.7		○	○
3	位置ベクトル、三角形の面積比	40	13.2	3(1)	8	5.3	○		
				3(2)	14	5.7		○	
				3(3)(i)	10	1.8		○	
				3(3)(ii)	8	0.3		○	○
4	三角関数を含む方程式の解の個数	40	14.7	4(1)	10	6.1	○		
				4(2)	10	7.6		○	
				4(3)	20	1.0		○	○
5	漸化式、無限級数の収束・発散	40	14.8	5(1)(i)	10	6.7		○	
				5(1)(ii)	6	3.2		○	
				5(2)(i)	6	2.3		○	○
				5(2)(ii)	18	2.6		○	○
6	極形式、ド・モアブルの定理	40	14.1	6(1)	12	10.1	○		
				6(2)	14	3.4		○	
				6(3)	14	0.6		○	○

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現代文 受験者数： 7397 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	現代文(評論)	50	17.5	1.問1.X	4	1.6		○	
				1.問1.Y	4	3.0		○	
				1.問2	15	5.8		○	○
				1.問3	15	2.7		○	○
2	現代文(評論)	50	18.9	1.問4	12	4.4		○	
				2.問1.a	2	0.7	○		
				2.問1.b	2	0.4	○		
				2.問1.c	2	0.5	○		
				2.問1.d	2	1.0	○		
				2.問1.e	2	1.0	○		
				2.問2	10	4.8		○	
				2.問3	6	1.9		○	
				2.問4	14	2.9		○	○
				2.問5	10	5.6		○	
				5	現代文(評論)	50	19.5	5.問1.a	2
5.問1.b	2	0.8	○						
5.問1.c	2	1.9	○						
5.問1.d	2	1.4	○						
5.問2.X	5	0.7						○	
5.問2.Y	5	3.7						○	
5.問3	2	0.2	○						
5.問4	6	2.0						○	
5.問5	12	2.6						○	○
5.問6	12	4.5						○	

小問(単位問)別平均点 〈国語〉

現・古 受験者数： 19517 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	18.8	1.問1.X	4	1.9		○					
				1.問1.Y	4	3.3		○					
				1.問2	15	6.2		○	○				
				1.問3	15	2.9		○	○				
2	現代文(評論)	50	21.0	1.問4	12	4.6		○					
				2.問1.a	2	0.9	○						
				2.問1.b	2	0.5	○						
				2.問1.c	2	0.6	○						
				2.問1.d	2	1.1	○						
				2.問1.e	2	1.2	○						
				2.問2	10	5.2		○					
				2.問3	6	2.1		○					
				2.問4	14	3.2		○	○				
				2.問5	10	6.3		○					
				3	古文(物語)	50	12.3	3.問1	4	1.0	○		
3.問2.1	4	2.0	○										
3.問2.2	4	1.5	○										
3.問2.3	4	1.7	○										
3.問2.6	4	2.3	○										
3.問3	5	0.8	○										
3.問4	12	1.1						○	○				
3.問5	10	0.8						○	○				
3.問6	3	1.0	○										
5	現代文(評論)	50	21.4					5.問1.a	2	1.8	○		
								5.問1.b	2	0.9	○		
				5.問1.c	2	1.9	○						
				5.問1.d	2	1.6	○						
				5.問2.X	5	0.7		○					
				5.問2.Y	5	4.0		○					
				5.問3	2	0.2	○						
				5.問4	6	2.4		○					
				5.問5	12	3.0		○	○				
				5.問6	12	4.8		○					

小問(単位問)別平均点〈国語〉

現古漢

受験者数： 92726 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代文(評論)	50	20.6	1.問1.X	4	2.0		○					
				1.問1.Y	4	3.4		○					
				1.問2	15	6.8		○	○				
				1.問3	15	3.4		○	○				
				1.問4	12	5.1		○					
2	現代文(評論)	50	23.9	2.問1.a	2	1.1	○						
				2.問1.b	2	0.6	○						
				2.問1.c	2	0.7	○						
				2.問1.d	2	1.3	○						
				2.問1.e	2	1.4	○						
				2.問2	10	5.9		○					
				2.問3	6	2.3		○					
				2.問4	14	3.7		○	○				
				2.問5	10	6.8		○					
				3	古文(物語)	50	17.7	3.問1	4	1.3	○		
								3.問2.1	4	2.5	○		
3.問2.2	4	2.0	○										
3.問2.3	4	2.3	○										
3.問2.6	4	2.8	○										
3.問3	5	1.2	○										
3.問4	12	2.6						○	○				
3.問5	10	1.7						○	○				
3.問6	3	1.4	○										
4	漢文(随筆)	50	16.4					4.問1.イ	2	1.1	○		
				4.問1.ロ	2	0.5	○						
				4.問1.ハ	2	0.4	○						
				4.問2.a	3	0.8	○						
				4.問2.b	3	0.2	○						
				4.問3	12	2.3		○	○				
				4.問4	6	1.9		○					
				4.問5	5	2.5	○						
				4.問6	8	2.0		○	○				
				4.問7	7	4.8		○					

小問(単位問)別平均点〈物理基礎〉

物理基礎 受験者数： 965 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	力のつり合い・運動方程式	30	12.4	1.問1.1重力	2	1.7	○						
				1.問1.2垂直抗力	2	1.3	○						
				1.問2.1水平成分	2	1.4	○						
				1.問2.2鉛直成分	2	1.4	○						
				1.問3.1垂直抗力	2	1.1	○						
				1.問3.2静止摩擦	2	1.0	○						
				1.問4	2	0.3	○						
				1.問5	2	1.4		○					
				1.問6	3	2.2		○					
				1.問7.1物体A	2	0.2	○						
				1.問7.2平板B	2	0.2	○						
				1.問8.a	2	0.1	○						
				1.問8.N	2	0.1	○						
				1.問9	3	0.1		○					
				2	熱と温度	20	5.3	2.問1(1)	1	0.9	○		
								2.問1(2)	1	0.6	○		
								2.問1(3)	1	0.7	○		
								2.問1(4)	1	0.9	○		
								2.問1(5)	1	0.7	○		
2.問2	2	0.5	○										
2.問3	3	0.6	○										
2.問4	3	0.2	○										
2.問5	3	0.2	○										
2.問6	4	0.0						○					

小問(単位問)別平均点〈物理〉

物理 受験者数： 58797 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	剛体のつり合い	33	13.0	1.問1.1垂直抗力	3	2.7	○						
				1.問1.2静止摩擦	3	2.6	○						
				1.問2	3	2.4	○						
				1.問3	3	0.9	○						
				1.問4	3	0.9		○					
				1.問5	3	1.4	○						
				1.問6	3	0.8		○					
				1.問7	4	0.7		○					
				1.問8	4	0.4		○					
				1.問9	4	0.2		○					
				2	ドップラー効果	33	7.6	2.問1.1音の速さ	3	0.9	○		
								2.問1.2波長	3	0.8	○		
								2.問2	3	1.5	○		
2.問3	3	1.4	○										
2.問4	3	1.0						○					
2.問5	3	0.3	○										
2.問6	3	1.2						○					
2.問7	4	0.2						○					
2.問8	4	0.3						○					
2.問9	4	0.1						○					
3	保存則	34	9.9	3.問1	3	2.8	○						
				3.問2	3	2.5	○						
				3.問3	6	2.1			○				
				3.問4	4	1.0		○					
				3.問5	4	1.0		○					
				3.問6	4	0.2		○					
				3.問7	5	0.1		○					
				3.問8	5	0.1		○					

小問(単位問)別平均点 〈化学基礎〉

化学基礎

受験者数： 3391 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	物質の構成、化学量	25	10.7	1.問1.あ	1	0.9	○						
				1.問1.い	1	0.9	○						
				1.問2(1)	2	0.8	○						
				1.問2(2)	2	0.5	○						
				1.問3(1)	2	1.6	○						
				1.問3(2)	2	0.6		○					
				1.問4.1元素記号	1	0.4		○	○				
				1.問4.2理由	2	0.9		○	○				
				1.問5	2	1.1	○						
				1.問6.1	1	0.7	○						
				1.問6.2	1	0.7	○						
				1.問6.3	1	0.7	○						
				1.問7(1)	2	0.6	○						
				1.問7(2)	3	0.1		○					
				1.問7(3)	2	0.0		○					
				2	酸・塩基	25	8.0	2.問1.あい	1	0.8	○		
								2.問1.う	1	0.7	○		
2.問2	2	1.1	○										
2.問3	2	1.0	○										
2.問4(1)	2	0.3	○										
2.問4(2)	2	0.2	○										
2.問5(1)1.コニ	1	0.8	○										
2.問5(1)2.ビュ	1	0.6	○										
2.問5(2)	3	0.8	○										
2.問5(3)	2	0.8	○										
2.問5(4)	2	0.6	○										
2.問5(5)	3	0.2	○										
2.問6	3	0.1						○					

小問(単位問)別平均点 〈化学〉

化学

受験者数： 72711 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	原子の構造、周期律、結合、結晶	30	14.7	1.問1(1)	2	1.4	○		
				1.問1(2)	3	1.4		○	
				1.問2	2	1.0	○		
				1.問3.1語	2	1.4	○		
				1.問3.2グラフ	2	1.4	○		
				1.問4(1)	2	0.9	○		
				1.問4(2)	2	1.2	○		
				1.問5	2	1.3	○		
				1.問6	3	1.3		○	
				1.問7	2	1.2	○		
1.問8	2	0.6	○						
1.問9	3	1.0	○						
1.問10	3	0.5		○					
2	酸と塩基	25	10.4	2.問1	3	2.5	○		
				2.問2(1)	2	1.1	○		
				2.問2(2)	2	1.1	○		
				2.問3	2	1.4	○		
				2.問4	3	1.3	○		
				2.問5	3	0.8	○		
				2.問6	2	1.0		○	
				2.問7	2	0.9	○		
				2.問8	3	0.3		○	
2.問9	3	0.1		○					
3	酸化・還元	25	11.8	3.問1	1	0.9	○		
				3.問2	2	1.3	○		
				3.問3(1)	2	1.1	○		
				3.問3(2)	2	1.5	○		
				3.問4(1)	2	1.6	○		
				3.問4(2)	2	0.6	○		
				3.問5	1	0.7	○		
				3.問6(1)	2	1.1	○		
				3.問6(2)	2	0.8	○		
				3.問6(3)	3	0.9	○		
				3.問7(1)	2	0.3		○	
				3.問7(2)	4	0.9		○	○
				4	固体の溶解度、浸透圧	20	2.9	4.問1	3
4.問2	3	0.9	○						
4.問3	4	0.4						○	
4.問4	3	0.7						○	
4.問5(1)	3	0.1						○	
4.問5(2)	4	0.0						○	

小問(単位問)別平均点 〈生物基礎〉

生物基礎 受験者数： 5220 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	代謝とATP・酵素	17	9.3	1.問1.1	2	1.4	○						
				1.問1.2	2	1.1	○						
				1.問2	2	1.6	○						
				1.問3(1)	2	1.3	○						
				1.問3(2)	3	1.3		○					
				1.問4(1)i	1	0.5		○					
				1.問4(1)ii	1	0.3		○					
				1.問4(2)	2	0.6			○				
				1.問4(3)	2	1.2	○						
				2	血糖濃度の調節・糖尿病	17	6.1	2.問1(1)P	2	0.4	○		
								2.問1(1)Q	2	0.6	○		
2.問1(1)R	2	0.6	○										
2.問1(2)P	1	0.5	○										
2.問1(2)Q	1	0.3	○										
2.問1(2)R	1	0.4	○										
2.問2.1	1	0.5	○										
2.問2.2	1	0.5	○										
2.問2.3	1	0.3	○										
2.問2.4	1	0.6	○										
2.問3(1)	2	0.7						○	○				
2.問3(2)	2	0.7						○	○				
3	生態系サービス・富栄養化	16	7.8					3.問1.1	2	0.2	○		
								3.問1.2	2	0.9	○		
				3.問2(1)	1	0.5	○						
				3.問2(2)	1	0.5	○						
				3.問2(3)	1	0.9	○						
				3.問3(1)	2	1.7		○					
				3.問3(2)	1	0.8		○					
				3.問4(1)	2	1.5	○						
				3.問4(2)	4	0.8			○				

小問(単位問)別平均点 〈生物〉

生物 受験者数： 19058 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	自然選択・性選択による進化	25	11.4	1.問1.1	2	1.0	○						
				1.問1.2	2	0.5	○						
				1.問1.3	2	0.5	○						
				1.問1.4	2	0.5	○						
				1.問2	2	1.4	○						
				1.問3(1)	2	1.8			○				
				1.問3(2)	3	1.7			○				
				1.問4	2	1.1	○						
				1.問5(1)	2	1.7	○						
				1.問5(2)i	2	0.3		○	○				
				1.問5(2)ii	4	0.7		○	○				
				2	DNAの半保存的複製とその仕組み	25	12.2	2.問1.1	2	1.4	○		
								2.問1.2	2	1.8	○		
								2.問1.3	2	1.5	○		
								2.問2	2	1.6	○		
2.問3(1)ア	1	0.2	○										
2.問3(1)イ	1	0.3	○										
2.問3(1)ウ	1	0.5	○										
2.問3(2)	2	0.8	○										
2.問3(3)	4	1.5							○				
2.問4(1)i	1	0.3	○										
2.問4(1)ii	1	0.3	○										
2.問4(2)i	3	1.0							○				
2.問4(2)ii	3	1.1							○				
3	免疫、拒絶反応でのリンパ球の役割	25	10.3					3.問1.1	2	1.0	○		
								3.問1.2	2	1.3	○		
				3.問1.3	2	0.6	○						
				3.問1.4	2	0.8	○						
				3.問2	2	0.8	○						
				3.問3	4	1.6			○				
				3.問4(1)	1	0.4			○				
				3.問4(2)	1	0.3			○				
				3.問4(3)	1	0.5			○				
				3.問4(4)	1	0.2			○				
				3.問5(1)	2	1.0			○				
				3.問5(2)	3	0.9			○				
				3.問5(3)	2	0.8			○				
				4	垂直分布、暖温帯での植生の遷移	25	11.0	4.問1.1	2	1.5	○		
								4.問1.2	2	1.6	○		
4.問1.3	2	1.0	○										
4.問2	2	0.6	○										
4.問3(1)	2	0.5	○										
4.問3(2)	3	0.4							○				
4.問4(1)	2	0.5	○										
4.問4(2)	2	1.0	○										
4.問4(3)	2	1.1							○				
4.問4(4)	3	1.6							○				
4.問4(5)	3	1.2							○				

小問(単位問)別平均点 (地学基礎)

地学基礎

受験者数： 524 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	地震の特徴・震央と震源	16	9.1	1.問1.1	2	1.8	○		
				1.問1.2	2	2.0	○		
				1.問2	2	1.4	○		
				1.問3	2	1.7		○	
				1.問4	3	0.5		○	
				1.問5	2	1.4		○	○
2	地質断面図・流水のはたらき	17	5.1	1.問6	3	0.3		○	○
				2.問1	3	0.4			○
				2.問2	2	0.1	○		
				2.問3	2	0.8		○	
				2.問4	2	1.2		○	
				2.問5(1)	2	0.4	○		
				2.問5(2)	2	0.4		○	
2.問6	2	1.2	○						
3	太陽放射・エネルギー収支	9	1.8	2.問7	2	0.6		○	
				3.問1.1	2	0.5	○		
				3.問2.2	2	0.5		○	
				3.問2.3	1	0.1		○	
				3.問3	2	0.3			○
4	太陽系の天体・惑星の分類	8	1.7	3.問4(1)	1	0.2	○		
				3.問4(2)	1	0.3	○		
				4.問1	1	0.4	○		
				4.問2.1	1	0.1	○		
				4.問2.2	1	0.0	○		
4	太陽系の天体・惑星の分類	8	1.7	4.問3(1)	2	0.8		○	○
				4.問3(2)	1	0.3		○	
				4.問3(3)	2	0.1		○	
				4.問3(3)	2	0.1		○	

小問(単位問)別平均点 (地学)

地学

受験者数： 167 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	地球の内部構造と表層の地学現象	20	7.7	1.問1.1	1	0.7	○		
				1.問1.2	2	1.3	○		
				1.問1.3	2	0.6	○		
				1.問2	4	2.1	○		
				1.問3	2	0.7		○	
				1.問4	3	0.4		○	
2	マグマの発生・分化と火成岩の特徴	20	4.6	1.問5	3	1.3			○
				1.問6	3	0.5			○
				2.問1.1	2	0.6	○		
				2.問1.2	2	1.3	○		
				2.問2	3	0.8			○
				2.問3	2	0.4		○	
3	地質柱状図と地史および地球の歴史	20	7.7	2.問4	3	0.5		○	
				2.問5	3	0.2			○
				2.問6.1鉱物	2	0.4	○		
				2.問6.3	1	0.1	○		
				2.問6.4	1	0.1	○		
				2.問6.5	1	0.1	○		
4	雲と降水および大気と海流の関係	20	7.5	3.問1	3	1.3			○
				3.問2	3	0.9		○	
				3.問3	2	1.0		○	
				3.問4(1)	2	0.5	○		
				3.問4(2)	2	0.5	○		
				3.問4(3)	2	1.1	○		
				3.問5	3	1.1		○	
				3.問6.1誤り	1	0.6	○		
				3.問6.2正しい	2	0.7	○		
				4.問1	2	0.6			○
				4.問2.1	1	0.3	○		
5	太陽系の惑星の運動と太陽の特徴	20	6.2	4.問2.2	2	1.1	○		
				4.問3(1)	2	1.0		○	
				4.問3(2)	3	1.2		○	○
				4.問4	2	0.5	○		
				4.問5	3	0.5			○
				4.問6	2	1.2	○		
5	太陽系の惑星の運動と太陽の特徴	20	6.2	4.問7.3	1	0.5	○		
				4.問7.4	1	0.4	○		
				4.問7.5	1	0.2	○		
				5.問1.1	2	1.1	○		
				5.問1.2	2	1.3	○		
				5.問2	2	0.2	○		
				5.問3.1位置	2	0.5			○
				5.問3.2方角	1	0.4			○
				5.問4(1)	3	1.2		○	
				5.問4(2)	3	0.4		○	○
5.問5	3	0.3	○						
5.問6	2	0.7			○				

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史 受験者数： 28776 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	古代から中世における地中海交易	26	9.4	1.1	1	0.3	○						
				1.2	1	0.2	○						
				1.3	1	0.2	○						
				1.4	1	0.3	○						
				1.5	1	0.3	○						
				1.6	1	0.2	○						
				1.7	1	0.4	○						
				1.8	1	0.2	○						
				1.問1	2	0.9		○					
				1.問2	2	0.3		○					
				1.問3	2	0.8		○					
				1.問4	2	0.8		○					
				1.問5	2	0.6	○						
				1.問6	2	0.6	○						
				1.問7	2	1.3		○					
				1.問8	2	1.1	○						
				1.問9	2	0.7		○					
				2	古代から中世にかけての西政史	24	8.9	2.1	1	0.2	○		
								2.2	1	0.2	○		
								2.3	1	0.5	○		
2.4	1	0.2	○										
2.問1	2	1.0						○					
2.問2	2	1.1	○										
2.問3	2	0.9						○					
2.問4	2	0.8	○										
2.問5	2	0.6	○										
2.問6	2	0.6						○					
2.問7	2	0.3							○				
2.問8	2	1.1						○					
2.問9.i	1	0.7						○					
2.問9.ii.ア	1	0.2	○										
2.問9.ii.イ	1	0.3	○										
2.問9.ii.ウ	1	0.2	○										
3	歴代中国王朝と儒教・儒学	26	8.1	3.1	1	0.4	○						
				3.2	1	0.2	○						
				3.3	1	0.5	○						
				3.4	1	0.3	○						
				3.5	1	0.1	○						
				3.6	1	0.2	○						
				3.7	1	0.2	○						
				3.問1	2	1.1		○					
				3.問2	2	0.8	○						
				3.問3	2	1.0		○					
				3.問4	3	0.4		○	○				
				3.問5	2	0.4	○						
				3.問6	2	0.9		○					
				3.問7	2	0.3	○						
				3.問8	2	0.6		○					
3.問9	2	0.7	○										

小問(単位問)別平均点 〈世界史〉

世界史

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	南インドの諸王朝の歴史	24	7.5	4.1	1	0.4	○		
				4.2	1	0.4	○		
				4.3	1	0.3	○		
				4.4	1	0.4	○		
				4.5	1	0.4	○		
				4.6	1	0.5	○		
				4.問1	2	0.4	○		
				4.問2	2	0.6			○
				4.問3	2	0.4	○		
				4.問4.i	2	0.8	○		
				4.問4.ii	2	0.7	○		
				4.問5	2	0.3	○		
				4.問6	2	0.6	○		
				4.問7	2	0.2		○	
4.問8	2	0.8		○					

小問(単位問)別平均点〈日本史〉

日本史

受験者数： 39976 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
1	食料獲得技術の進展	30	17.5	1.問1	2	0.7	○		
				1.問2	2	1.0	○		
				1.問3	2	1.0	○		
				1.問4	2	1.6	○		
				1.問5	2	1.5	○		
				1.問6	2	1.7	○		
				1.問7	2	1.3		○	
				1.問8	2	1.3	○		
				1.問9	2	0.9	○		
				1.問10	2	1.1	○		
				1.問11	2	1.3		○	
				1.問12	2	0.9	○		
				1.問13	2	0.9		○	
				1.問14	2	1.4	○		
				1.問15	2	0.9	○		
2	木簡からみる古代の国家や社会	20	7.9	2.問1	2	0.6	○		
				2.問2	2	1.6	○		
				2.問3	2	1.0		○	
				2.問4	2	0.6	○		
				2.問5	2	0.5	○		
				2.問6	2	1.3	○		
				2.問7	2	0.9		○	
				2.問8	2	1.0		○	
				2.問9	4	0.3			○
3	漢文学と仮名文学	20	6.8	3.問1	2	0.8	○		
				3.問2	2	0.2	○		
				3.問3	2	0.6		○	
				3.問4	2	0.7	○		
				3.問5	2	0.8		○	
				3.問6	2	0.7	○		
				3.問7	2	0.9	○		
				3.問8	2	0.9	○		
				3.問9	2	0.6	○		
				3.問10	2	0.6	○		
4	中世の朝幕関係	30	10.3	4.問1	2	0.6		○	
				4.問2	2	0.6	○		
				4.問3	2	0.5	○		
				4.問4	2	0.6	○		
				4.問5	2	0.7	○		
				4.問6	2	0.1	○		
				4.問7	2	0.3	○		
				4.問8	2	1.0		○	
				4.問9	2	0.3	○		
				4.問10. a	2	0.8	○		
				4.問10. b	2	1.0	○		
				4.問10. c	2	1.1	○		
				4.問10. d	2	0.9	○		
				4.問10. e	2	0.5	○		
				4.問10. f	2	1.3	○		

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地理 受験者数： 9110 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	気候要素と気候因子、植生・土壌	25	9.2	1.問1.イ	2	0.6		○					
				1.問1.エ	2	0.4		○					
				1.問1.オ	2	0.5		○					
				1.問2	3	1.1			○				
				1.問3.1	2	0.9		○					
				1.問3.2	1	0.6		○					
				1.問4(1)	1	0.5		○					
				1.問4(2)	1	0.4		○					
				1.問5	2	0.9		○					
				1.問6(1)X	1	0.5	○						
				1.問6(1)Y	1	0.5	○						
				1.問6(1)Z	1	0.5	○						
				1.問6(2)3	2	0.4	○						
				1.問6(2)4	2	0.8	○						
				1.問6(2)5	2	0.6	○						
				2	工業化、各種工業の立地、ICT	25	7.7	2.問1.A	2	1.6	○		
								2.問1.B	2	0.3	○		
								2.問1.C	2	1.0	○		
								2.問2(1)	1	0.6	○		
								2.問2(2)	1	0.9	○		
2.問2(3)	1	0.4	○										
2.問3(1)1記号	1	0.4						○					
2.問3(1)2資源	1	0.2						○					
2.問3(2)	4	0.2							○				
2.問4(1)X	2	0.2	○										
2.問4(1)Y	2	0.2	○										
2.問4(2)1表2	1	0.5						○					
2.問4(2)2D	1	0.1						○					
2.問5(1)	1	0.4	○										
2.問5(2)	1	0.2	○										
2.問5(3)	1	0.2	○										
2.問6	1	0.3						○					
3	食料事情、食の安全、農地森林保全	25	8.7	3.問1.1	2	0.1	○						
				3.問1.2	2	0.9	○						
				3.問1.3	2	0.5	○						
				3.問1.4	2	0.9	○						
				3.問1.5	2	0.3	○						
				3.問2.A	1	0.1		○					
				3.問2.B	1	0.3		○					
				3.問2.E	1	0.3		○					
				3.問3	2	0.3	○						
				3.問4(1)	1	0.1		○					
				3.問4(2)	1	0.4		○					
				3.問4(3)	1	0.4		○					
				3.問5.6	2	0.3	○						
				3.問5.7	2	1.9	○						
				3.問6(1)	1	0.6	○						
				3.問6(2)	1	0.9		○					
				3.問6(3)	1	0.7		○					

小問(単位問)別平均点 〈地理〉

地理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	ヨーロッパの自然、産業、文化	25	9.7	4.問1.1	2	0.6	○		
				4.問1.2	2	1.5	○		
				4.問1.3	2	1.6	○		
				4.問2(1)	1	0.4	○		
				4.問2(2)	2	0.7	○		
				4.問3(1)	1	0.5		○	
				4.問3(2)	1	0.3		○	
				4.問4.D	1	0.4		○	
				4.問4.E	1	0.5		○	
				4.問5(1)	1	0.3	○		
				4.問5(2)	1	0.2	○		
				4.問5(3)	1	0.5	○		
				4.問6(1)	1	0.4		○	
				4.問6(2)	1	0.8		○	
4.問7	1	0.3	○						
4.問8(1)	1	0.3	○						
4.問8(2)	1	0.3	○						
4.問9	4	0.2			○				

小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫理 受験者数： 2634 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	現代の倫理的課題	24	9.3	1. 問1	2	0.6	○						
				1. 問2	2	0.3	○						
				1. 問3	2	1.4		○					
				1. 問4(1)2	2	1.4	○						
				1. 問4(1)3	2	0.1	○						
				1. 問4(2)	2	1.4	○						
				1. 問5(1)	2	0.7	○						
				1. 問5(2)4	2	0.9	○						
				1. 問5(2)5	2	1.2	○						
				1. 問6(1)	2	0.3		○					
				1. 問6(2)	2	0.3		○					
				1. 問6(3)	2	0.5	○						
				2	東洋源流思想の発展と特質	26	6.2	2. 問1(1)	2	0.3		○	
								2. 問1(2)	2	1.3		○	
								2. 問2	1	0.3	○		
								2. 問3(1)	2	0.4	○		
								2. 問3(2)	2	0.2	○		
2. 問4(1)	2	0.9						○					
2. 問4(2)	2	0.0	○										
2. 問5(1)	2	0.4	○										
2. 問5(2)	2	0.7						○					
2. 問6.5	2	0.1	○										
2. 問6.6	2	0.5	○										
2. 問6.7	2	0.5	○										
2. 問7(1)	1	0.0	○										
2. 問7(2)	2	0.5	○										
3	日本における仏教の受容と展開	26	8.7	3. 問1.1	2	0.6	○						
				3. 問1.2	2	0.3	○						
				3. 問1.3	2	0.7	○						
				3. 問2	2	0.5	○						
				3. 問3.4	1	0.2		○					
				3. 問3.5	1	0.0	○						
				3. 問4	2	0.6	○						
				3. 問5	2	0.3			○				
				3. 問6	2	0.7	○						
				3. 問7	2	1.6	○						
				3. 問8.6	2	0.3		○					
3. 問8.7	2	0.5		○									
3. 問9.8	2	1.5	○										
3. 問9.9	2	0.7	○										

小問(単位問)別平均点〈倫理〉

倫理

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	近代的人間観の形成	24	6.5	4. 問1	1	0.2	○		
				4. 問2	2	0.5	○		
				4. 問3	2	1.1	○		
				4. 問4	2	0.6	○		
				4. 問5(1)	2	0.6	○		
				4. 問5(2)	2	0.2			○
				4. 問6	2	0.3	○		
				4. 問7(1)	2	1.4	○		
				4. 問7(2)	2	0.1	○		
				4. 問8(1)	2	0.1	○		
				4. 問8(2)	2	0.7			
				4. 問9(1)	2	0.5	○		
				4. 問9(2)	1	0.1	○		

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済 受験者数： 16252 人

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	民主政治の基本原理	20	9.8	1.問1.1	1	0.4	○						
				1.問1.2	1	0.9	○						
				1.問2	1	0.6	○						
				1.問3	2	1.0		○					
				1.問4	1	0.4	○						
				1.問5	2	0.6		○					
				1.問6(1)	2	0.3	○						
				1.問6(2)	2	1.6		○					
				1.問7(1)	2	0.6	○						
				1.問7(2)	2	1.1	○						
				1.問8	2	0.9	○						
				1.問9	2	1.2		○					
				2	日本国憲法の統治機構	20	7.2	2.問1.1	1	0.8	○		
2.問1.2	1	0.3	○										
2.問1.3	1	0.4	○										
2.問1.4	1	0.1	○										
2.問1.5	1	0.3	○										
2.問1.6	1	0.5	○										
2.問2(1)	1	0.1						○					
2.問2(2)	2	0.8						○					
2.問3(1)	2	0.9						○					
2.問3(2)	1	0.4	○										
2.問3(3)	1	0.3						○					
2.問4(1)	1	0.1	○										
2.問4(2)	2	1.4						○					
2.問5(1)	1	0.2						○					
2.問5(2)	2	0.2						○					
2.問6	1	0.4						○					
3	資本主義経済の歩みと市場機構	20	8.3					3.問1.1	1	0.2	○		
								3.問1.2	1	0.8	○		
				3.問1.3	1	0.1	○						
				3.問1.4	1	0.1	○						
				3.問2(1)	2	1.0		○					
				3.問2(2)	1	0.1	○						
				3.問3(1)	2	0.9		○					
				3.問3(2)	1	0.4	○						
				3.問4	1	0.4	○						
				3.問5	1	0.7	○						
				3.問6	2	1.0		○					
				3.問7(1)	2	1.6		○					
				3.問7(2)	1	0.2	○						
				3.問7(3)	1	0.1	○						
3.問7(4)	2	0.8		○									

小問(単位問)別平均点 (政治経済)

政治経済

設問No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力
4	財政・金融政策、物価、景気変動	20	4.7	4.問1.1	1	0.1	○		
				4.問1.2	1	0.0	○		
				4.問1.3	1	0.0	○		
				4.問2	1	0.2	○		
				4.問3	1	0.4		○	
				4.問4	2	0.5		○	
				4.問5	1	0.5		○	
				4.問6	2	0.7		○	
				4.問7	2	0.5		○	
				4.問8	1	0.2		○	
				4.問9(1)	2	1.0		○	
				4.問9(2)4	1	0.1	○		
				4.問9(2)5	1	0.1	○		
				4.問10(1)	2	0.1		○	
4.問10(2)	1	0.2		○					
5	各国の政治体制	20	4.1	5.問1(1)	2	0.4		○	
				5.問1(2)	1	0.2	○		
				5.問2	2	0.3	○		
				5.問3(1)	2	0.7		○	
				5.問3(2)	1	0.1	○		
				5.問4	2	0.3		○	
				5.問5	2	0.1		○	○
				5.問6	2	0.8		○	
5.問7(1)	2	0.3	○						
5.問7(2)	1	0.3	○						
5.問7(3)	1	0.3	○						
5.問8	2	0.2	○						

数 学

【数学Ⅰ型】

図形の特徴を把握し、基本公式を正確に適用しよう！

① 小問集合(4) 三角比と図形の計量

余弦定理、正弦定理などの基本公式を用いた計量問題

(4)は三角比を用いた計量問題であり、「余弦定理」、「正弦定理」、「三角形の面積公式」などの基本公式を適切に用いることができればすべて完答できるはずである。しかし、結果として出来はあまりよくなかった。

(i)は三角形ABCに余弦定理を用いる問題であり、出来はよかった。(ii)は辺CDの長さを求める問題である。条件に外接円の半径が与えられているため、

三角形ACDに正弦定理を用いるのでは？

そして、そのためには辺CDの対角にあたる

$\angle CAD$ の正弦の値を求める必要がある

このような方針を思いついていた答えは多く見られた。しかし、出来はあまりよくなく、 $\sin \angle CAD$ の値が求められていない答えが多く見られた。本問はこの部分を突破しなければ、辺CDの長さだけでなく、以降の問題すべてが解けなくなり、全体の出来を大きく左右する。

答案の多くは、

$$\angle CAD = 180^\circ - \angle CAB$$

に気付いていない、あるいはそれに気付いていても、


$$\sin(180^\circ - \theta) = \sin \theta$$

を正しく用いることができていなかった。この手の公式は丸暗記している受験生が多いが、三角比の定義を理解していればいつでも導き出せるものであるから、公式の本質を教科書などでしっかり確認してほしい。

本問のように、基本公式を使うだけの問題は入試で合否を分ける問題になりやすい。入試では難問を解くことよりも、当たり前の問題を素早く正確に解けるようにしておくことが合格の鍵となることも多い。受験生の皆さんには今秋ぐらいを目途に、問題集などを用いて全分野の「当たり前の問題」を確実に解けるようになることを目標に頑張ってもらいたい。

学 習 対 策

ここでは、教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお、設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は  **模試ナビ** 河合塾 全統模試 学習ナビゲーター に掲載していますので、確認してください。

英 語

文の構造を正確に把握し、答案に反映させよう！

第4問 長文読解問題

語法、文構造の正確な理解をもとに、和訳する問題

問5は、using factors 以下の分詞構文の構造の理解、およびandによる並列の理解という文構造の把握がポイントであった。答案の中には、using factors 以降を直前の名詞methodを修飾するものと誤って捉えたものも見られた。また、andによる並列についても誤った捉え方をしている答案が少なからずあった。句や節がどこを修飾するかについての理解は、文構造を取るうえでの基本である。文法、周りの文の意味、文脈を考慮して修飾対象を決定する必要がある。また、andによる並列についても同様だ。文法上対等な立場にあるものを丁寧に拾わなければならない。こうした文構造の把握がポイントとなる問題に対処するためには、日ごろの学習の中に英文を精読するトレーニングを採り入れることが有効だ。文の要素、句や節、等位接続詞による並列など、英文の核となる構造を丁寧に取る練習を積み重ねれば、本問のような問題でも確実に点数が取れるようになるはずだ。

解答の根拠箇所を見つけ、正確に解釈しよう！

第5問 長文読解問題

解答の根拠となる箇所を見つけて説明する問題

問5は、第19)文のthese challenges「これらの困難」について、具体的に説明する問題であった。解答根拠となる箇所は直前の第18)文にあるため、比較的多くの答案が書くべきことには気づいていた。もっとも、解答根拠となる箇所の解釈を誤った答案が多かった。特に、depositやsubstrates、waterproofといった単語の意味がわからず、誤った推測に基づいて訳を書いた結果、全体の趣旨を損ねてしまう答案も散見された。特に、substratesは「基板」という語注が付されているにもかかわらず、「物質」とするなどの「もったいない」誤りが多く見られた。この時期は、まだ試験に慣れていない受験生もいることだろう。根拠となる箇所がわかっていたにもかかわらずこの問題で間違えてしまった人は、今一度英文を丁寧に読み直し、どうすれば点できたのかを分析・検証してほしい。また、語彙力の増強にも忘れず取り組んでもらいたい。

国 語

【現代文】

必要な言葉を的確に用いながら説明を組み立てよう

第一問 問三

傍線部の内容を説明する問題

傍線部が示している状況について、大まかにはわかっているとおぼしき答案も少なくなかったが、得点率は低調であった。返却された答案を見て、思った以上に点数が低くて衝撃を受けた人もいただろう。だが、それだけで終わりにしてしまっただけではもったいない。何がまずかったのか、ここでしっかり認識することが今後の飛躍につながる。

この設問では、「男(性)」、「女(性)」、「絵画」か「美術館」のそれぞれがない答案を全体から減点とした。それは、傍線部に対する明確な説明として、それらの語句が欠かせないからである。「マンスプレイング」とは、たんに誰かが相手をではなく、〈男性が女性を下に見て説明を行う〉ことである。また、設問に「美術館の例に即して」とある以上、それに相当する語句を交えた説明が求められる。

また、採点基準上のポイントで言うとも a・c・e が比較的書けていたのに対し、b・d があまり書けていなかった。説明が「自作自演式」であることを示すには、「説明」される女性が実際には質問していないということの明示が必要だし(→b)、「説明」の様子を見た人が、女性が先に質問していたと思込まされてしまうことは、「美術館の例」において働く「調整」の内実である(→d)。本文の叙述には細心の注意を払い、過不足のない答案づくりに努めてもらいたい。

【古文】

本文を正しく解釈し、可不足無く説明しよう

第三問 問五

傍線部の内容を具体的に説明する問題

傍線部の内容説明は、①傍線部を逐語訳(直訳)する、②前後の文脈から不足する情報を読み取って補い、傍線部の内容をより具体的に理解する、③設問の条件に適するように解答としてまとめる、という手順で取り組むとよい。

傍線部の逐語訳は、「返事もなさらず、何度もうなずきなさった」である。文脈から補える情報には、以下のようなものが挙げられる。

【数学Ⅲ型】

試行のルールを正しく捉え、想定される場合を丁寧に調べよう！

② 確率

条件に合うようにカードを取り出す確率を求める問題

本問は、袋の中のカードを1枚取り出して戻すことを繰り返して行う反復試行の確率を求める問題である。取り出したカードに書かれた数を順に a_1, a_2, a_3, \dots として、 $S_n = a_1 a_2 a_3 \dots a_{n-1} + a_n$ の値について考える問題であったが、 S_n の式を読み間違えているものや、カードの取り出し方がわかってもその確率を正しく計算できていないものが多く見られた。そのため、(1)から差がついた問題である。以下、個々の設問について細かく見ていこう。

(1) $n=2$ の場合について $S_2 = a_1 + a_2$ の値が0, 2となる確率を求める設問である。出来はまずまずであったが、 $S_2 = a_1 a_2$ と読み間違えている答案が散見された。また、 $S_2 = 2$ となるのは $(a_1, a_2) = (1, 1), (2, 0), (0, 2)$ となる場合であるが、 $(a_1, a_2) = (2, 0), (0, 2)$ について、0と2の順序を考慮せず、これらの確率をまとめて $\frac{1}{4} \times \frac{1}{4}$ と計算している答案が目立った。このような順序を考えなかったことによる計算ミスは、確率の問題でよく見られる間違いの1つである。想定される状況を正しく立式できているのかを意識しよう。

(2) $n=4$ の場合について $S_4 = a_1 a_2 a_3 + a_4$ の値が0, 2となる確率を求める設問である。(1)と同様に $S_4 = a_1 a_2 a_3 a_4$ と読み間違っている答案が散見された。また、 $S_4 = 0$ となるのは $a_1 a_2 a_3 = 0$ かつ $a_4 = 0$ となる場合であるが、 $a_1 a_2 a_3 = 0$ となる確率について、0のカードを1回取り出し、残り2回はどのカードを取り出してもよしとし、これに順序を考慮し $3 \times \frac{1}{4} \times \frac{4}{4} \times \frac{4}{4}$ と計算している答案が目立った。これでは重複する取り出し方が含まれてしまう。これも確率の問題でよく見られる間違いなので、重複するものが含まれないように上手に計算するためのアイデアを蓄えよう。

(3) 3以上の整数 n に対して、 $S_n = a_1 a_2 \dots a_{n-1} + a_n$ の値が6となる確率を求める設問である。一般の n に対しての考察であったためか、手つかずの答案が多かった。記述式の試験では、本設問のように一般の n について確率を考えるものは非常に多いので、まずはこのような問題に多く触れて経験を積んでもらいたい。

【数学Ⅱ型】

状況を的確に捉え、議論を丁寧に進めよう！

③ 三角関数

三角関数を含んだ方程式の解を考察する問題

本問は、 $f(\theta) = \sin 2\theta - 2a(\sin \theta + \cos \theta) + 2$ について、 $f(\theta)$ を $t = \sin \theta + \cos \theta$ の2次式で表し、 θ に関する方程式の解を考察する問題である。(1)、(2)の出来はよかったが、(3)で大きく差がついた。以下、個々の設問について細かく見ていこう。

(1) θ が $0 \leq \theta < 2\pi$ の範囲を変化するときの t のとり得る値の範囲を求める設問である。三角関数の合成を用いて考えればよい。合成は正しくできているが、 t のとり得る値の範囲を $-\sqrt{2} \leq t < \sqrt{2}$ と間違えている答案が散見された。前半の設問での軽微なミスが、以降の設問の得点に大きく影響することも多いので、慎重になろう。

(2) $f(\theta)$ を t を用いて表す設問である。 $t^2 = 1 + \sin 2\theta$ となることを用いればよい。2倍角の公式を間違えていたり、計算ミスをしている答案も一部見られた。基本的な問題をミスなく完答することが入試においても重要である。ミスをした受験生は解き直しをしておこう。

(3) θ の方程式 $|f(\theta)| = 1$ が $0 \leq \theta < 2\pi$ の範囲にちょうど4つの解をもつような a の値の範囲を求める設問である。(1)、(2)を利用して、 t の方程式に帰着させて考察すればよい。その際、 t の値と θ の個数の対応を考える必要があるが、この部分で大きな差がついた。各 t に対して、 $t = \sqrt{2} \sin\left(\theta + \frac{\pi}{4}\right)$ ($0 \leq \theta < 2\pi$) を満たす θ の個数は次のように対応する。

- ・ $-\sqrt{2} < t < \sqrt{2}$ のとき2個、
- ・ $t = -\sqrt{2}, \sqrt{2}$ のとき1個、
- ・ $t < -\sqrt{2}, \sqrt{2} < t$ のとき0個。

この点に着目できれば、 t の方程式 $|t^2 - 2at + 1| = 1$ が $-\sqrt{2} < t < \sqrt{2}$ の範囲に2つの解をもち、 $t = \pm\sqrt{2}$ を解にもたないような a の値の範囲を求めればよいことがわかる。置き換えを行った場合に「置き換えを行う前の文字」と「置き換えを行った後の文字」の対応を考察する問題では、出来に大きな差がつくことが多い。「学習の手引き」の【解説】を読んで確認してほしい。

これらをわかりやすくまとめて、解答として整える。

- a 頼朝が(返事をしないで、うなずいた)
- b 守康の言葉に納得したことを伝えるために(返事をしないでうなずいた)
- c 自分の返事の内容を平家方に聞かれたら都合が悪いと思ったから(声を出して返事をしなかった)

まず、説明問題で「誰が」の指摘は、設問文に明記されていなければ必須要素である。次に、傍線部直前の末尾〈已然形+ば〉は原因・理由を示すので、ここが「返事をしない」理由である。なお、聞かれて不都合なのは、守康の話ではなくそれに対する頼朝の返事であることに注意したい。また、見落としがちであるが、「うなずく」という行為が「守康の言葉に対する納得・同意」の表明であることも解答に含める。

【漢文】

書き下し文は、基本句形に基づいて、文脈に即した意味になるよう作成しよう

第四問 問四

書き下し文の問題

まず、使役形「令A□」(Aをして□しむ)に着目する。使役の対象(A)に送り仮名「をして」を施し、「しむ」に返読する述語(□)は未然形に活用させる。多くの答案が「家人をして……しむ」と読めていたが、中には「家人に」「官をして」と誤ったものがあった。また、設問に読みが示されている「訟^{うつた}ふ」は下二段動詞なので、未然形「訟へ」に活用させて「しむ」に接続する必要があるが、サ変動詞として「訟^{しゅう}せ」と読んだもの、四段で活用させて「訟^{うつた}は」と読んだものが散見された。書き下し文では、古典文法の活用や接続にも注意したい。つぎに、「於官」のうち「於」は前置詞の働きを持つが、文脈によって場所・対象・起点・比較・受身など様々な意味を表す。前置詞句「於～」が述語の後に置かれた場合は「於」自体は置き字として読まず、前置詞句「於～」の「～」に「を・に・より・よりも」のうち文脈にふさわしい助詞を送って読む。ここでは述語が「訟ふ」で、前置詞の目的語が「官(役人)」なので、『だれに』訴えたのかと判断して「官」に「に」を送ればよい。「官を」とした答案が散見されたが、「家庭教師が家の者に訴えさせた」のは「戴用を」であって「官を」ではない。書き下し文は、文脈に即した意味になるように作成しよう。

理科

【物理基礎】

静止摩擦力と最大摩擦力の関係を理解しておこう！

第1問 問4

物体が滑り出すときの力の関係から静止摩擦係数を求める問題

本問は、最大摩擦力の大きさが「静止摩擦係数×垂直抗力の大きさ」で表せることを用いて静止摩擦係数を求める問題であり、前問の問3は、本問を解くための準備ともいえる設問になっている。

静止摩擦力は、物体が接触している面で滑らないようにはたらく力であり、物体を滑らせようとする力に応じて静止摩擦力の大きさも変化する。ただ、静止摩擦力の大きさには限界があり、その限界値が最大摩擦力である。したがって、物体が滑り出さないための条件は、静止摩擦力の大きさが限界値を越えないことであり、「静止摩擦力 ≤ 最大摩擦力」という関係式を立てる問題がよく出題される。

今回は、物体Aが「滑り出した」とあるので、「静止摩擦力 = 最大摩擦力」とすればよい。物体Aが滑り出した「直後」としてしまふと、物体にはたらく摩擦力は動摩擦力に変わってしまい、静止摩擦係数を求めることができなくなる。そのため、静止摩擦係数を求めたい場合は、物体Aが滑り出す「直前」で考えることにする。すると、物体Aはつり合いの状態にあるとみなせるので、問3のつり合いの式から得られた垂直抗力と静止摩擦力を用いることができる。垂直抗力と静止摩擦力の大きさは角度 θ によって変化するので、問4では θ_1 を代入した形で用いればよい。ある角度 θ が特定の値 θ_1 になってはじめて滑り出すという現象が起きるので、添え字の1にはとても大きな意味がある。添え字忘れのミスは十分に反省してほしい。

「なんとなく」で問題を解いてしまう受験生にありがちなこととしては、設定によらず最大摩擦力の大きさを「 μmg 」とすることだろうか。よく見る表式ではあるが、最大摩擦力の大きさはあくまでも垂直抗力の大きさによって決まる。今回、問3で静止摩擦力や垂直抗力を求めているが、共通テストのように誘導となる設問が少ない構成の問題では、自分で問3のステップを考えなければならない。復習の際には、どのような「流れ」で問題を解き進めたか、しっかりと振り返るようにしてほしい。

【物理】

条件問題を攻略して実力を一段高めよう

第1問

力のつり合いと力のモーメントのつり合い

今回の模試の第1問のような物体の静止に関する問題は、

- ① 力のつり合いの式を立てる。
- ② 力のモーメントのつり合いの式を立てる。
- ③ これらの式を連立して、各力を求める。

という流れから始まることが多い。これを誤りなく完了させるためには、まず丁寧な図を描かなければならない。物体にはたらくすべての力を図の中に描き、それを適切な方向へ分解する。そしてこれを基に、各方向に対して力のつり合いの式を立てる。さらに、力のモーメントのつり合いについては、回転軸の設定場所や作用線上における力の移動など、モーメントの計算が少しでも楽になるような工夫も大切だ。特に力のモーメントに関する作図は煩雑になることが多いので、図は大きめに描いた方がよいだろう。以上の連立方程式を解けば、未知の値であった力がすべて求められる。

そして次のステップは、起きた物理現象に対する力の条件を考察することである。最も頻出なのは、摩擦面上で物体が滑らない条件である。これは、最初のステップで求めた各力の中にある静止摩擦力に関する条件である。また、物体が倒れない条件は、物体の底面と斜面や床面などの接触面から受ける垂直抗力の位置に関する条件で表される。より具体的には、物体が倒れ始める時の回転軸から垂直抗力の作用点までの距離が0よりも大きければ物体は倒れず、この距離が0となったときに物体は倒れ始める。これらの条件はどちらも不等式で表現できるので、条件の比較が可能になる。

今回の問題であれば、斜面の角度 θ を徐々に大きくして、緩斜面から急斜面へと変化していく様子をイメージするとよいだろう。 $\tan\theta$ は角度 θ とともに増加するので、 $\tan\theta$ で表される“滑らない条件”と“倒れない条件”という2つの条件のうち、先に条件が破れる(つまり、実際に現象が起きる)のは $\tan\theta$ の上限值がより小さい方と判断できる。

以上のように、物理はその基本的な立式から始まり応用的な条件問題に至るまで、作図と具体的なイメージが問題解決の大きなアシストになる。普段の学習における作図の練習こそが、試験本番のイメージトレーニングそのものであることを肝に銘じておこう。

【化学基礎】

実験の流れを正確に把握しよう！

第2問 問5(5)、問6 二酸化炭素の定量

実験の流れを理解し、二酸化炭素の物質量を求める問題

変化する大学入試を突破するために身に付けなければならない学力要素の一つに「思考力・判断力」がある。現段階で、この力がどの程度身に付いているかを確認するために出題した問題である。

入試では、実験をテーマとする問題がよく出題されるが、実際に行っている操作しか問題文に書かれていない(例えば、「純水を加えて希釈した」「10.0 mL 取り出した」「二酸化炭素を水酸化ナトリウム水溶液に吸収させた」など)。それゆえ、希釈したり、取り出したりすることによって、溶液の濃度や溶液中の溶質の量がどのように変化するのか。その操作によって、どのような化学反応が起こるのかを考えながら問題を解いていく必要がある。本問も、実験の流れを正確に把握できたかどうかのポイントとなる。

操作1では、 $\text{Ba}(\text{OH})_2$ 水溶液に CO_2 を吸収させると、 $\text{Ba}(\text{OH})_2$ と CO_2 が反応し、未反応の $\text{Ba}(\text{OH})_2$ が上澄み液100 mLに残る。操作2では、この上澄み液から10.0 mLを取り出し、これに含まれる $\text{Ba}(\text{OH})_2$ を塩酸で滴定している。

問5(5)は、操作2における上澄み液10.0 mL中の $\text{Ba}(\text{OH})_2$ と滴下した HCl の中和に着目し、中和反応の量的関係を用いて解けばよい。このとき、 $\text{Ba}(\text{OH})_2$ は2価の塩基であることに注意しよう。 $\text{Ba}(\text{OH})_2$ を1価の塩基として計算した「 $1.5 \times 10^{-3} \text{ mol}$ 」の誤答が散見された。

問6は、操作1で吸収させた CO_2 の物質量を y [mol]として上澄み液100 mLに残ってる $\text{Ba}(\text{OH})_2$ の物質量を求めると、操作2で取り出した上澄み液10.0 mL中の $\text{Ba}(\text{OH})_2$ の物質量を求めることができる。この物質量が問5(5)の解答である $7.5 \times 10^{-4} \text{ mol}$ とわかれば、解答にたどり着く。

このように、実験問題を解く鍵は実験の流れを正確に把握することにある。普段の練習の中で、操作の流れ図を書いたり、どんな反応が起こっているのか考えたりすることが重要である。同時に「思考力・判断力」は、基礎力を確実に身につけてこそ培われるものであるから、「学習の手引き」の整理なども活用して、確実な基礎力を身につけていこう。模試の結果に一喜一憂せず、基礎事項の理解度を点検しなおし、十分な対策を講じておこう。

【化学】

定番問題の解法をマスターしよう！

第2問 問9 逆滴定の計算の解法

中和滴定の頻出問題が逆滴定の計算問題である。今回は肥料中のNの含有率を求める問題であった。この逆滴定の解法をきちんとマスターしておこう。

◎逆滴定の解法の手順

(1) 弱塩基の塩(NH_4NO_3)を強塩基(NaOH)と反応させて、弱塩基である NH_3 を発生させる。



(2) 発生した NH_3 を濃度既知の希硫酸 H_2SO_4 に吸収させる。



(3) 残った H_2SO_4 を NaOH で滴定する。



これに基づいて、次のような順で考えていく。

(3)で反応した H_2SO_4 =(2)で残った H_2SO_4 の物質量を求める

↓

(2)で反応した H_2SO_4 の物質量を計算する

↓

(2)で反応した NH_3 =(1)で発生した NH_3 の物質量を求める

↓

(1)で反応した NH_4NO_3 の物質量を計算する

↓

窒素肥料中のNの含有率を算出する

この手順に基づいて、模試の問題、『学習の手引き』を一緒に見ながら、もう一度丁寧に復習してみよう。きっと理解が格段にアップするだろう。

ただ、少し面倒なことは、

- ②、③式の係数比が2:1であること
- (2)の水溶液200 mLから10.0 mLを取り出してから、(3)の反応をしていること

そして、最後の注意点は、 NH_4NO_3 1 mol中にN原子が2 molあることである。問題の注意点なども理解して、把握しておくこと、試験に対する心構えが変わってくる。

逆滴定の解法をマスターして、余裕をもって試験に向かおう！

【生物基礎】

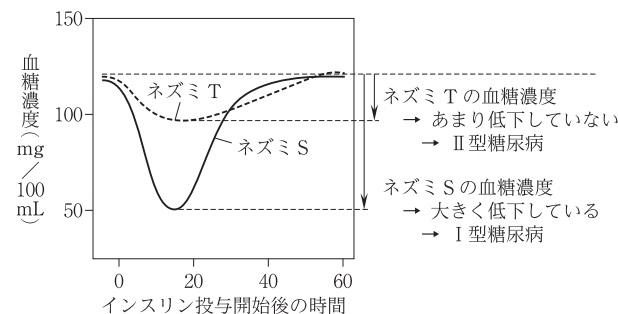
図を読み取って、糖尿病の原因を考察する力を身につけよう！

第2問 問3 糖尿病の原因を調べる考察問題

インスリン投与後の血糖濃度の変化から糖尿病の原因を考察する問題

この問題は、異なる原因で糖尿病を発症している2匹のネズミについて、糖尿病の知識を利用してその原因を考察する問題である。

まずは、糖尿病に関する知識を確認しておこう。糖尿病は、自己免疫疾患によりすい臓のランゲルハンス島B細胞が破壊され、インスリンが分泌されないことが原因で発症するI型糖尿病と、生活習慣の悪化などにより血糖濃度の高い状態が続き、インスリンの分泌量が低下したり、標的細胞のインスリンに対する反応性が低下することが原因で発症するII型糖尿病の大きく2つに分けられる。本問の2匹のネズミは、異なる原因で糖尿病を発症していることから、II型糖尿病の原因は、標的細胞のインスリンに対する反応性が低下することが原因であると考える。以上の知識を踏まえて、問題の図を考察する。



図の結果から、インスリンを投与しても、血糖濃度があまり低下していないネズミTは、インスリンを受容する標的細胞のインスリンに対する反応性が低下するII型糖尿病を発症していると考えられる。一方、インスリンを投与すると、血糖濃度が大きく低下しているネズミSは、標的細胞には異常はないが、インスリンが分泌されないI型糖尿病を発症していると考えられる。

このように、入試では知識を利用して問題文や図に与えられた情報を整理し、考察する問題が出題される場合が多い。全統模試では、実験問題、考察問題を数多く出題しているので、この模試を通じて実験問題や考察問題に対応する力を身につけて欲しい。

【生物】

複製された DNA と染色体の関係を正しく理解しよう

第2問 問4(2)

DNA の半保存的複製に関する問題

問題では「原核生物の DNA が半保存的に複製される」こと、そして「この実験により、真核生物の DNA も半保存的に複製されると明らかになった」ことが記されている。したがって、実験の結果についても DNA が半保存的に複製されることに基づいて考察する必要がある。その際、2 回の複製が進む間は培地に特殊なヌクレオチドが含まれており、新たに合成される鎖には特殊なヌクレオチドが常に取り込まれるという実験条件をふまえて考えることが求められる。

1 回目の複製では、特殊なヌクレオチドを含んでいない鎖(これを A とおく) 2 本からなる 2 本鎖 DNA (A+A) から、このヌクレオチド鎖のそれぞれを鋳型として、それと相補的な塩基配列をもち特殊なヌクレオチドを含む 1 本鎖 DNA (これを B とおく) が合成される。したがって複製によって特殊なヌクレオチドを含まない鎖と含む鎖からなる 2 本鎖 DNA (A+B) が 2 組できる。これが分裂に際して娘細胞に 1 組ずつ分配されるので、棒状になった染色体は全体が薄く染色される(正解は選択肢イとなる)。

2 回目の複製では、特殊なヌクレオチドを含んでいない鎖と特殊なヌクレオチドを含む鎖からなる 2 本鎖 DNA (A+B) から、それぞれの鎖を鋳型として、それと相補的な塩基配列をもち特殊なヌクレオチドを含む 1 本鎖 DNA (B) が合成される。したがって、特殊なヌクレオチドを含まない鎖(A)を鋳型とする場合は、A+B と表現される 2 本鎖 DNA が、特殊なヌクレオチドを含む鎖(B)を鋳型とする場合は、B+B と表現される 2 本鎖 DNA が、それぞれ合成される。これが分裂に際して娘細胞に 1 組ずつ分配されるので、棒状になった染色体は A+B が薄く、B+B が濃く染色される(正解は選択肢カとなる)。

2 回目の複製の説明で示した A+B、および B+B はそれぞれ 2 本鎖 DNA を示す。これらはそれぞれ染色分体とよばれる。染色分体が「2」本あるということ、2 本鎖 DNA の「2」とを区別し、手引きに示した図の内容を正しく理解しておこう。

【地学基礎】

問題の意図を的確に読み取り、慎重に計算しよう

第4問 問3

現在までに消費された太陽の水素の割合を求める問題

本問は、太陽において、誕生から現在までに消費された水素の量が、太陽の全質量のうちどれくらいの割合かを求める計算問題である。計算問題であり、大きな数値がいくつも出てくることから、難しい問題と思ひ込み、まったく手を付けなかった人もいたと思われる。しかし本問は、地学基礎の知識はほぼ必要がなく、問題文を注意深く読んで、問題の意図を読み取ることができれば、あとは計算するだけの問題であり、実は解きやすい問題である。苦手意識をまずは捨てて、頑張ってみよう。

約46億年前に誕生した太陽の主成分は水素であり、太陽の中心部では水素の核融合反応が起きてエネルギーが生じている。これが地学基礎に必要な知識であるが、本問ではこの知識を知らなくても解答できる。問題文を読むと、太陽が1秒間に消費する水素の量と誕生から現在までの時間があるので、それらの積で現在までに消費した水素の量が求まる。また、問題文に太陽の質量があるので、求める割合は簡単な割り算で計算できる。後は単位に注意して計算すればよい。このように、問題文を丁寧に読むと簡単な問題であるとわかる。苦手意識から敬遠するのではなく、挑戦することが大事である。

また、桁数の大きな数字があると難しいと感じる人は、問題文を「1秒間に6個の水素が消費されます。5秒経過すると、全部で200個の水素のうち何%が消費されるのでしょうか。」に変えようだろうか。これなら小学生でも解ける問題である。答えは、 $6 \times 5 \div 200 = 0.15$ で15%となる。これと本問は、本質的に考え方はまったく同じである。 $6 \times 5 \div 200$ の6を6000億(kg)、5を50億 $\times 3.2 \times 10^7$ (秒)、200を 2×10^{30} (kg)に置き換えると、本問の正しい解答を計算できる。このように柔軟に考えることも大切である。なお、桁数の大きい計算はミスが多くなりやすいので、なるべく多くの練習をして慣れておこう。

【地学】

解答に必要な式を組み立て、誤りなく計算する力を身につけよう

第2問 問4

結晶分化作用によるマグマの変化に関する問題

マグマの一部が固結して鉱物が結晶するとき、一般的にその鉱物の化学組成はマグマとは異なる。このため、鉱物が結晶する前後ではマグマの化学組成も変化する。このような過程をマグマの結晶分化作用という。結晶分化作用の計算問題が出題された場合、解答を得るために必要な数値を順に計算していく必要がある。この問いの場合、求めるのは鉱物の結晶後に残されたマグマ Y の SiO_2 質量%である。これを計算するためには、マグマ Y 自体の質量と、マグマ Y に含まれる SiO_2 の質量をそれぞれ求めなければならない。元のマグマをマグマ X、鉱物の結晶後残されたマグマをマグマ Y、結晶した鉱物をまとめて固形物 Z と呼び、それぞれの関係や SiO_2 質量%を求めていく。まず、それぞれの質量を M_X 、 M_Y 、 M_Z とすると、鉱物の結晶前と結晶後で質量は変化しないため、 $M_X = M_Y + M_Z$ が成り立つ。問題文より固形物 Z の質量はマグマ X の20%であるので、 $M_Z = 0.2M_X$ であることがわかり、これらから必要な M_Y が $0.8M_X$ であることがわかる。次に求めるのはマグマ Y に含まれている SiO_2 の質量%である。まず、マグマ X の SiO_2 質量%が問題の表1に48.6%と与えられていることから、元のマグマに含まれていた SiO_2 の質量は $0.486M_X$ である。一方、問題文にあるマグマ Z の SiO_2 質量%が42.0%であるから、マグマ Z に含まれている SiO_2 の質量は $0.420M_Z = 0.420 \times 0.2M_X = 0.084M_X$ である。したがって、元のマグマ X に含まれていた SiO_2 のうち、マグマ Y に残された SiO_2 の質量は $0.486M_X - 0.084M_X = 0.402M_X$ であると計算できる。これをマグマ Y の質量で割って100倍すれば、マグマ Y の SiO_2 質量%が得られる。結果は、 $0.402M_X \div 0.8M_X \times 100 = 50.25$ であるから、問題文にあるとおり小数第2位を四捨五入して50.3%となる。この値は元のマグマ X より増加しているが、これは融点が高い鉱物は通常 SiO_2 質量%が小さいことを反映しており、結晶分化作用によって SiO_2 質量%が大きいマグマが形成されることを示している。

地理歴史

【世界史】

5 W 1 H をきちんと押さえる

人名が答えとなる空欄補充問題

人名は正確に

当然ながら歴史は人間の行動の結果であるから、誰が(Who)、何を(What)したかを押さえておかなければならない。今回の模試では人名を問うた問題だけでなく、例えば大問2の間7や大問3の間4の論述問題でも、人名やその人の業績が求められている。これらのことから分かるように、世界史ではまず、「誰が」と「何をしたか」とが結びつけて出題される。単に名前だけを覚えているだけでは問題に全く対応できないということだ。誤った解答をした、あるいは解答欄を空白とした受験生の皆さんは、まずは人物とその業績(事柄)を結びつけて学習をするようにしてほしい。その際に、いつ(When)、どこで(Where)という情報も併せて押さえておくとうい。また、歴史上の出来事には必ず理由がある。つまりなぜ(Why)である。歴史上の出来事がどのような背景の下でなぜ起こったかということが分かると、それは理解するということにつながる。ここに世界史は単に暗記ではないと言われる理由がある。最後にその事件がどのように(How)起こったのか、あるいは起こされたのかという概要である。まずはこれら5 W 1 H をしっかりとインプットすることが世界史学習の上で第一条件となる。そして、インプットした情報をアウトプットする練習をしておかなければならない。それが問題演習である。問題集はそのためにあるのであり、今回の模試を通して人名が正確に書けなかった諸君には、是非有効に活用してもらい、第2回目以降の全統記述模試でその成果を見せていただきたい。

【日本史】

歴史事象はその時期をおさえ、原因・背景、結果・影響を意識しよう

第2問 問9

恭仁京遷都直前に発生した戦乱について説明する論述問題

本問では、恭仁京遷都直前に発生した戦乱について、この戦乱の首謀者の名を明らかにしながら、説明することを求めた。8世紀前半には、天災や飢饉の発生、疫病の流行によって社会不安が高まるなかで、聖武天皇は740年に起きたこの戦乱の最中に平城京を離れ、まず山背(山城)の恭仁京に遷都した。その後、摂津の難波宮、近江の紫香楽宮に遷都し、745年には平城京に都を戻した。以上のことから、この戦乱は、740年に発生した藤原広嗣の乱のことであると判断したい。当時、中央政界では、聖武天皇のもとで橘諸兄が政権を掌握するなか、天皇の信任を得た吉備真備・玄昉が重用された。大宰府の役人(大宰少式)であった藤原広嗣は、彼らの登用に不満を抱き、吉備真備・玄昉の排除を求めて九州で大規模な反乱を起こした。これに対し朝廷は、追討軍を派遣してまもなくこの戦乱を鎮圧し、首謀者であった広嗣を処刑した。

本問の解答としては、①戦乱の首謀者である藤原広嗣の名を明確に指摘したうえで、②広嗣が挙兵した理由・動機、③戦乱の経過を挙げてもらいたい。①・②については、長屋王の変、橘奈良麻呂の変、恵美押勝の乱などと錯誤した答案が多く、藤原広嗣の乱と恭仁京遷都の時期がそもそもつかめていないと思われる。8世紀における天皇や政権担当者の順をおさえ、それぞれが8世紀のどの時点で当たるのかということを確認しておく必要がある。一方、藤原広嗣の乱とわかっているものの、「嗣」の誤字が非常に多かったのは惜しいところである。③については、この戦乱が鎮圧されたという結果を指摘したものが非常に少なかった。戦乱ということは、何らかの戦闘があったことはほぼ自明なので、挙兵したこと(反乱を起こしたこと)で文を締めくくらず、戦乱の結果・影響にまで言及する必要がある。

「藤原広嗣の乱」という歴史用語を覚えていても、その発生時期がわからなければ、どういう政治・社会情勢のなかでこの戦乱が発生したのかを説明することはできない。時期を把握しつつ、戦乱のような歴史事象の原因・背景、結果・影響を把握する意識を持ってもらいたい。

【地理】

諸分野・諸事象相互の関連性に気づくと地理学習が楽しくなる

第3問 問2

世界の国々の人口規模や経済水準のイメージを持っておこう!

この問いでは、国名判定の前に、人口上位5か国を「うち4か国はアジア(アジア以外は1か国)」というヒントをもとに選び出し、自分で選択肢を作る必要がある。人口は変化するから現時点で人口の多い国を覚えるのは無意味ではないか?と言うかもしれないが、そんなことはない。地理で学習する事象には人口規模と関連づけると理解が深まるものが多い。たとえば、主食穀物は人口の多い国ほど多い傾向がある。また、発展途上国の工業化政策に輸入代替型と輸出指向型があるが、人口の少ない発展途上国は国内市場が狭い(国内で販売できる量が少ない)ので、国内向けの輸入代替型工業化には限界がある。韓国、台湾、香港、シンガポールが早期に輸出指向型に転じて工業化を進め、アジア NIEs と呼ばれるようになった背景の1つに人口が少なかったことがある。この問いでは、Aをナイジェリア、Bをブラジル、Cをロシアとした人が散見されたが、人口3位がアメリカ合衆国であることは自明の知識(!)なので、これらの国をあげるとアジア以外が2か国またはそれ以上となり、「アジア以外は1か国」というヒントと矛盾する。世界の国々の人口についておおまかなイメージを持ち、人口1億人以上の国は覚えておかなければならない。

出来が悪かったA・Bはパキスタンとインドであるが、パキスタンとインドは栄養不足蔓延率だけでなく、人口動態(人口増加率など)や輸出品目(総輸出額に占める機械類、繊維品、一次産品の割合など)の統計値においても違いがあり、その背景には経済水準の違いがある。統計問題には、工業化の進展度や経済水準の違いをもとに国名を判定させるものが多く、栄養不足蔓延率のように、最近の入試で頻出となったSDGs(持続可能な開発目標)の諸指標を使った国名判定問題の多くも経済水準の違いを念頭におくと容易に正解できる。そうした問いの復習をする際には、統計集で「1人当たりGNI」を確認し、世界の国々の経済水準について、それぞれの国が先進国なのか発展途上国なのか、新興国と呼ばれるようになった国なのか、最貧国なのかなど、問題を解く際に使える自分なりのおおまかなイメージを持っておこう。

公 民

【政治・経済】

日本国憲法の統治機構について押さえよう

第2問

日本の統治機構を中心とした設問

本問では、国会、内閣、裁判所、地方自治に関する知識が問われている。これらは、従来から政治・経済の入試で出題頻度がきわめて高い分野であり、2026年入試で出題される可能性も高い。

国会に関しては、問題文中の **2** には「指名」が入る（「総理大臣の指名権」）これは、内閣の「最高裁判所長官の指名権」と共通しており、ともに任命権は天皇にある（国事行為）ことを確認しておきたい。また、国会議員に関する問3(1)、国会の種類を問う問3(2)、衆議院の優越に関する問3(3)は、いずれも入試で頻出の知識が問われている。

内閣に関しては、問題文中の **4** には「政令」が入るが（「政令の制定権」）、政令が「憲法・法律の規定を実施するため」に内閣によって制定されるものであることとあわせて記憶しておきたい。また、内閣あるいは内閣総理大臣に関する問4(2)は、いずれも入試で頻出の知識が問われている。

裁判所に関しては、問題文中の **5** には「特別」が入るが、空欄の前後の「司法権に属さない…裁判所の設置は禁止されている」との記述から、しっかり「特別裁判所」を想起できるようにしておきたい。また、裁判および裁判所に関する問5(1)、国民参加の司法制度に関する問5(2)は、いずれも入試で頻出の知識が問われている。

地方自治に関しては、地方公共団体の事務や財政に関する問2(1)は、「事務」と「財政」に分けて整理しておいてもらいたい。また、地方自治法上の仕組みに関する問2(2)は、議会と首長に関わる知識(㉠、㉡)と、住民の直接請求権に関わる知識(㉢、㉣)に分けて、さらにそれぞれに関する知識を付加して整理しておいてもらいたい。

日本国憲法の統治機構に関する問題は、入学試験では、シンプルに「知識」を問うものがほとんどで、体系的・理論的な理解を問うような、「頭を使って考える」必要がある出題は少ない。「国会」「内閣」「裁判所」「地方自治」に分類したうえで、それぞれに関する知識を整理して、普段から地道に「覚える」努力を続けければ、確実に得点源にすることができるはずである。

【倫理】

用語の暗記に走らず、思想内容の理解に努めよう！

第2問 問3(1)

ブッダの教えの内容を問う問題

ブッダの教えの説明として適当なものを、ア～ウからすべて選んだとき、その組合せとして正しいものを選択させる問題。

ア：誤文。苦諦について「悟りに至る正しい方法は苦行に徹すること」と説明しているのは誤り。苦諦は、ブッダが説いたこの世の四つの真理(四諦)の一つで、人生は苦しみに満ちているという真理のこと。なお、四諦には、苦諦のほか、集諦(苦の原因は煩惱にあるという真理)、滅諦(煩惱を減することによって涅槃[ニルヴァーナ]に至ることができるという真理)、道諦(涅槃に至るための正しい修行法は八正道であるという真理)が含まれる。また、「苦行に徹すること」という部分に着目することでも、誤りと判断できる。ブッダは苦行にも快樂にもかたよらない中道(具体的には、上で見た八正道)に徹すべきであるとした。

イ：誤文。「慈悲」ではなく「癡」についての説明。三毒とは、人が苦しみの原因となる煩惱を抱え込んでしまう原因をブッダが三つにまとめたもので、癡(おろかさ)のほかには、貪(むさぼり)と瞋(いかり)である。なお、「慈悲」とは、他者を慈しんで樂を与えること(慈)、他者をあわれんで苦を取り除くこと(悲)をいう。

ウ：正文。涅槃寂靜とは、ブッダが説いた四法印(根本的な四つの教え)の一つである。これには、涅槃寂靜(正しい法を悟ることで煩惱の炎が消えた解脱の境地に至ることができるとする真理)のほかに、一切皆苦(変化するものに執着することで人生は苦しみとなる)、諸行無常(人間の自我も含めてすべてのものは変転する)、諸法無我(それ自体だけで存在するような実体というものは存在しない)が含まれる。どのような設問についてもいえることだが、この種の設問もまた、キーワードを力ずくで暗記するだけでは正答にいたることができない。やはり、日頃から、内容理解に徹した学習を心がけておかないと、高得点は望むべくもない。改めて、表面的な学習に満足することのないように気をつけよう。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第1回全統記述模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、31ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

- 科目名、大問・設問番号
 - 内容に該当する項目（A～Eの記号を選択）
 - 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

- 「採点に関する問い合わせ用紙」（提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。）
- 「個人成績表」（コピーの場合は、両面を提出してください。）
 * ただし、Web返却対象者は必要ありません。
- 第1回全統共通テスト模試との総合学力評価（ドッキング評価）についての問い合わせの場合は、第1回全統共通テスト模試の個人成績表もご提出ください。（コピーでもかまいません。また、Web返却対象者は必要ありません。）

上記3点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第1回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してご郵送ください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。（不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。）
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案（コピー）に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

7月3日(木)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、8月1日(金)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

- 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
- 利用目的
 - ・成績処理および成績返却
 - ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は、全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

※河合塾生（塾生として申し込んだ大学受験科・高校グリーンコース生）の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター（12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

0120-977-558

*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2025年度 第1回全統記述模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ 氏名				受験会場名			
受験番号				個人成績表の解答用紙番号	—		
在・卒高校名				クラス名	クラス番号		
住所 (連絡先)	〒 —			*マンション名、部屋番号まで記入してください。			
電話番号	() —			携帯電話番号	() —		
*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。							
科目名		大問	設問番号	項目	←該当する項目（A～E）を左に記入してください。 A. 正答が×になっている。 B. 部分点が正しく与えられていない。 C. 採点されていない箇所がある。 D. 成績表の得点が答案と異なる。 E. その他（下記に具体的に記入してください。） *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。		
(例) 数学Ⅱ型		②	(2)	B			
【問い合わせ内容記入欄】 *上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。 (例) 成立する場合の説明に対して部分点が与えられていない。							
[回答欄]							
							回答者

切りとり線

受付日	受付者

返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- | | |
|----------------|------------------------------------|
| ①個人でお申し込みの方 | 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558 |
| ②学校を通じてお申し込みの方 | 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558 |
| ③河合塾生の方 | [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577 |
- ※高校グリーンコース生以外の塾生の方は所属校舎へお問い合わせください。

*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①河合塾生の方 | 所属校舎 |
| ②河合塾生以外の方 | 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/ |



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- | | | |
|-------|------------------------------------------------|------------------|
| 北海道営業 | 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) | TEL(011)708-8584 |
| | 【担当地区：北海道】 | |
| 東北営業 | 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) | TEL(022)215-7581 |
| | 【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】 | |
| 関東営業 | 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) | TEL(048)647-9581 |
| | 【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】 | |
| 首都圏営業 | 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 | TEL(03)6811-5532 |
| | 【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】 | |
| 中部営業 | 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) | TEL(052)735-1511 |
| | 【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】 | |
| 近畿営業 | 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 | TEL(06)6372-5731 |
| | 【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】 | |
| 中四国営業 | 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) | TEL(082)264-4581 |
| | 【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】 | |
| 九州営業 | 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) | TEL(092)714-5711 |
| | 【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】 | |